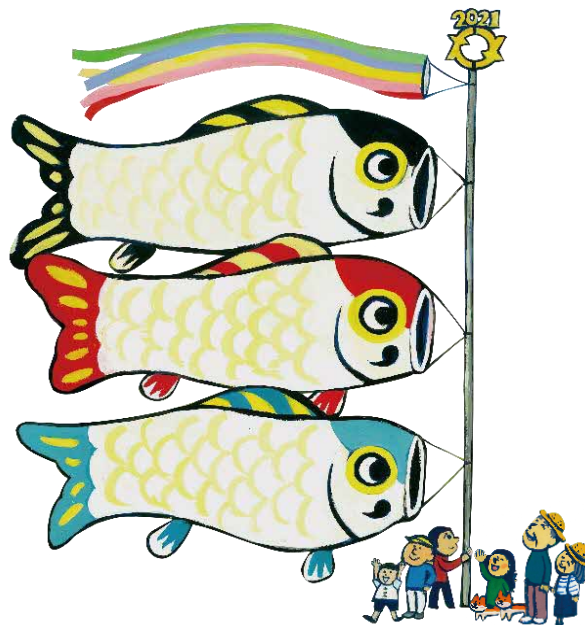


令和4（2022）年度

行政評価報告書



大竹市

令和5年（2023年）12月作成

目 次

第1章 政策評価（“幸せ実感”大竹まちづくりアンケート調査結果）

第1節 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の内容	1
3 調査項目	2
第2節 アンケート分析	3
1 総括（全体）分析	3
（1）総合評価	3
（2）分野別評価	8
（3）分野別の自由意見	13
2 属性別分析	23
（1）性別	23
（2）年齢	25
（3）住所	26
第3節 自由記述「大竹市のイチオシ」「最近幸せだなと感じたこと」など	28
第4節 資料（アンケート調査用紙）	42

第2章 施策評価

第1節 概要	46
1 内容	46
2 表の見方	46
第2節 総合戦略における重要業績評価指標（KPI）の達成状況と施策評価	47
基本目標1【まち】	47
基本目標2【ひと】	51
基本目標3【しごと】	51
第3節 総評	53

第1章 政策評価（“幸せ実感”大竹まちづくりアンケート調査結果）

第1節 調査の概要

1 調査の目的

市では、まちづくりの指針として、将来像や理念を定めた「大竹市まちづくり基本構想」を令和2年度に策定しました。「大竹市まちづくり基本構想」では、おおむね30年後の幸せなまちの未来を描き、その実現に向けて「教育・文化」や「産業・雇用」などの分野別にまちづくりに取り組んでいます。

このアンケートは、基本計画におけるまちづくりのテーマである「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」と市民の皆様が思えるようなまちに近づけているか、普段の生活がよりよくなってきているかの実感を、市民の皆様におたずねするために実施しました。

2 調査の内容

(1) 調査対象

大竹市内に在住する満18歳以上の男女
(住民基本台帳法に基づく登録者(令和5年4月30日現在))

(2) 標本数

2,000人

(3) 抽出方法

無作為抽出

(4) 調査方法

調査用紙の発送・回収ともに郵送方式
回収についてはインターネット回答を併用

(5) 調査期間

令和5年5月16日(火)～6月16日(金)

(6) 有効回答数及び回収率

回答数 528件(26.4%)
〔 431件(21.6%) (郵送) 〕
〔 97件(4.8%) (インターネット) 〕

【注意】

百分率は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示しており、百分率の合計が100%にならない場合があります。性別や年齢などの基本情報などが未記入の場合は、その条件による分析ができず、数値に反映することができないため、回答者総数と回答数が一致しない場合があります。

また、属性別調査の分類で回答数が少ない場合、傾向などが把握できないため、省略している場合があります。

(7) 回答者構成

属性		配布数	回答数	構成割合	回収割合
性別	男	1000 人	263 人	49.8 %	26.3 %
	女	1000 人	238 人	45.1 %	23.8 %
	回答しない		12 人	2.3 %	
	無回答		15 人	2.8 %	
年齢	18～29歳	162 人	21 人	4.0 %	13.0 %
	30～39歳	192 人	42 人	8.0 %	21.9 %
	40～49歳	236 人	53 人	10.0 %	22.5 %
	50～59歳	291 人	59 人	11.2 %	20.3 %
	60～69歳	285 人	103 人	19.5 %	36.1 %
	70歳以上	834 人	237 人	44.9 %	28.4 %
	無回答		13 人	2.5 %	
住所	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	678 人	184 人	34.8 %	27.1 %
	西栄、南栄、東栄、北栄	369 人	69 人	13.1 %	18.7 %
	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	534 人	133 人	25.2 %	24.9 %
	阿多田	23 人	6 人	1.1 %	26.1 %
	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷	24 人	8 人	1.5 %	33.3 %
	玖波、玖波町、湯舟町	308 人	86 人	16.3 %	27.9 %
	松ヶ原町	16 人	2 人	0.4 %	12.5 %
	栗谷町	48 人	19 人	3.6 %	39.6 %
	無回答		21 人	4.0 %	

3 調査項目

【分野別】

- (1) 教育・文化分野（設問数：5「広く社会で活躍する人を育むまちづくり」について など）
- (2) 産業・雇用分野（設問数：4「活気ある産業のまちづくり」について など）
- (3) 生活・環境分野（設問数：6「快適で暮らしやすいまちづくり」について など）
- (4) 安全・安心分野（設問数：5「災害に強いまちづくり」について など）
- (5) 健康・福祉分野（設問数：5「子どもが健やかに育つまちづくり」について など）
- (6) 自治・行政運営分野（設問数：4「市民と行政の協働」について など）
- (7) まとめ（6分野の中で特に力を入れてほしいもの）

【自由筆記】

- ・大竹市でのあなたのイチオシ
- ・最近「幸せだな」と感じたこと

【回答者の属性】

- (1) 性別
- (2) 年齢
- (3) 住所

第2節 アンケート分析

1 総括（全体）分析

（1）単純集計結果（分野・設問別「はい」の割合）

大竹市まちづくり基本構想の「分野別取組宣言」の6分野21項目に対する設問について、普段思っていることをおたずねしました。

各設問に「はい」と答えた人の割合を算出し、その値が高いほど、市民の幸せ感も高いと判断します。

分野	分野別取組宣言	設問番号	設問	R4										
				回答数（人）				設問の「はい」		回答数（人）			分野の「はい」	
				はい	個別 選択肢	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位
A 教育・ 文化	広く社会で活躍する人を育むまちづくり	①	子どもたちが学び、成長できる環境になっていると感じますか。	279		221	500	55.8%	14	1,410	1,102	2,512	56.1%	4
		②	生涯学習・社会教育・文化活動など様々な学びの場が整っていると感じますか。	266		244	510	52.2%	18					
	一人ひとりを大切にするまちづくり	③-1	あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。	226		274	500	45.2%	22					
		③-2	あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。	359		139	498	72.1%	4					
B 産業・ 雇用	歴史や文化を大切にするまちづくり	④	地域の歴史や伝統文化が大切にされ、未来に引き継がれていると感じますか。	280		224	504	55.6%	15	668	1,370	2,038	32.8%	6
		⑤	活気ある産業のまちづくり	180		335	515	35.0%	26					
	⑥	多くの人が訪れるまちづくり	97		420	517	18.8%	27						
	⑦	地域経済が元気なまちづくり	196		314	510	38.4%	24						
C 生活・ 環境	安心して働けるまちづくり	⑧	ひとりひとりのライフスタイルに応じた働きやすい環境があると感じますか。	195		301	496	39.3%	23	1,838	1,225	3,063	60.0%	3
		⑨-1	生活に必要なインフラ（上下水道、鉄道、バス、道路など）が整い、快適な生活環境になっていると感じますか。	290		222	512	56.6%	12					
	⑨-2	目的地までの移動がしやすいまちだと感じますか。	239		275	514	46.5%	21						
	自然と調和するまちづくり	⑩-1	豊かな自然が守られ、景観を生かしたまちづくりが進んでいると感じますか。	323		181	504	64.1%	9					
		⑩-2	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいと感じますか。	346		158	504	68.7%	7					
	⑪	楽しさと憩いにあふれるまちづくり	282		231	513	55.0%	16						
⑫	環境にやさしいまちづくり	358		158	516	69.4%	6							
D 安全・ 安心	災害に強いまちづくり	⑬-1	防災情報の伝達手段（防災行政無線、防災メール、テレホンサービス、緊急速報メール、ホームページなど）は充実していると感じますか。	337		167	504	66.9%	8	1,317	537	1,994	66.0%	1
		⑬-2	あなたの家庭では災害を意識した準備をしていますか。（複数回答可）	266		225	491	54.2%	17					
		⑬-3①	自宅周辺で起こり得る自然災害をハザードマップで確認している。		225									
		⑬-3②	災害の状況に合わせた避難先（避難場所、親戚や知人宅、ホテルを含む）を決めている。		187									
		⑬-3③	大きな災害があった時のために水や食料を3日分程度備蓄している。		170									
		⑬-3④	その他		24									
	⑭	事故や犯罪の少ないまちづくり	352		145	497	70.8%	5						
	⑮	命を大切にするまちづくり	362		140	502	72.1%	3						

R3										R4-R3																			
回答数 (人)					設問の「はい」					回答数 (人)					設問の「はい」					回答数 (人)					分野の「はい」				
はい	個別 選択肢	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	個別 選択肢	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位			
375	/	210	585	64.1%	8	1,893	1,035	2,928	64.7%	2	▲ 96	/	11	▲ 85	▲ 8.3%	▲ 6	▲ 483	67	▲ 416	▲ 8.6%	▲ 2								
362	/	224	586	61.8%	12						▲ 96	/	20	▲ 76	▲ 9.6%	▲ 6													
329	/	256	585	56.2%	16						▲ 103	/	18	▲ 85	▲ 11.0%	▲ 6													
472	/	111	583	81.0%	2						▲ 113	/	28	▲ 85	▲ 8.9%	▲ 2													
355	/	234	589	60.3%	14						▲ 75	/	▲ 10	▲ 85	▲ 4.7%	▲ 1													
181	/	416	597	30.3%	26	703	1,697	2,400	29.3%	6	▲ 1	/	▲ 81	▲ 82	4.6%	0	▲ 35	▲ 327	▲ 362	3.5%	0								
79	/	525	604	13.1%	27						18	/	▲ 105	▲ 87	5.7%	0													
193	/	415	608	31.7%	25						3	/	▲ 101	▲ 98	6.7%	1													
250	/	341	591	42.3%	23						▲ 55	/	▲ 40	▲ 95	▲ 3.0%	0													
349	/	257	606	57.6%	15	2,151	1,436	3,587	60.0%	4	▲ 59	/	▲ 35	▲ 94	▲ 1.0%	3	▲ 313	▲ 211	▲ 524	0.0%	1								
277	/	323	600	46.2%	22						▲ 38	/	▲ 48	▲ 86	0.3%	1													
374	/	219	593	63.1%	10						▲ 51	/	▲ 38	▲ 89	1.0%	1													
373	/	213	586	63.7%	9						▲ 27	/	▲ 55	▲ 82	5.0%	2													
330	/	262	592	55.7%	17						▲ 48	/	▲ 31	▲ 79	▲ 0.8%	1													
448	/	162	610	73.4%	6						▲ 90	/	▲ 4	▲ 94	▲ 4.1%	0													
395	/	188	583	67.8%	7	1,583	619	2,341	67.6%	1	▲ 58	/	▲ 21	▲ 79	▲ 0.9%	▲ 1	▲ 266	▲ 82	▲ 347	▲ 1.6%	0								
297	/	283	580	51.2%	19						▲ 31	/	▲ 58	▲ 89	3.0%	2													
/	/	245	/	/	/						/	/	245	/	/	/						/	/						
/	/	207	/	/	/						/	/	207	/	/	/						/	/						
/	/	169	/	/	/						/	/	169	/	/	/						/	/						
/	/	36	/	/	/						/	/	36	/	/	/						/	/						
436	/	148	584	74.7%	5						▲ 84	/	▲ 3	▲ 87	▲ 3.8%	0													
455	/	139	594	76.6%	3						▲ 93	/	1	▲ 92	▲ 4.5%	0													

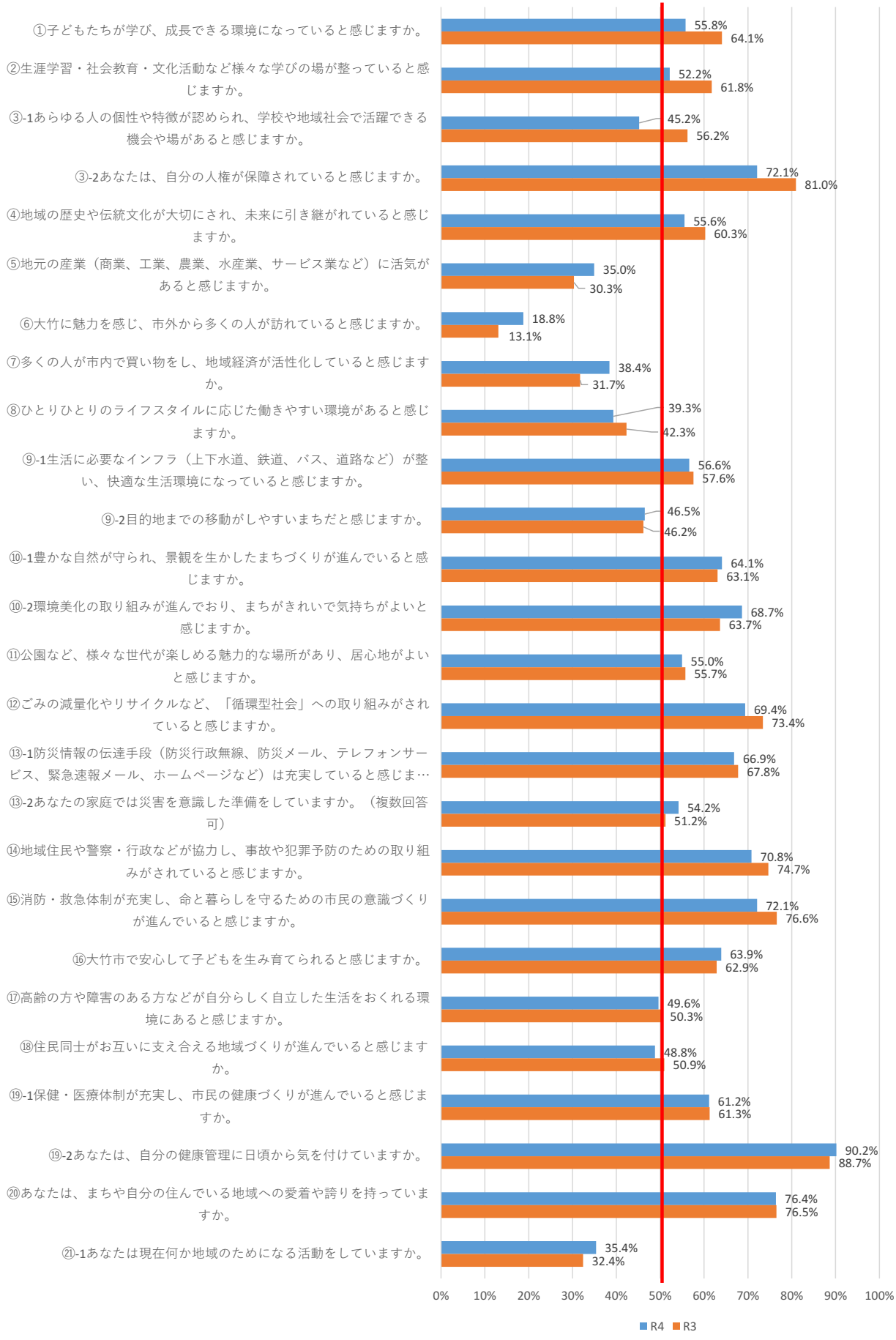
分野	分野別取組宣言	設問番号	設問	R4										
				回答数(人)				設問の「はい」		回答数(人)			分野の「はい」	
				はい	個別 選択肢	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位
E 健康・福祉	子どもが健やかに育つまちづくり	⑯	大竹市で安心して子どもを生き育てられると感じますか。	310	/	175	485	63.9%	10	1,584	935	2,519	62.9%	2
	誰もが自分らしく生きるまちづくり	⑰	高齢の方や障害のある方などが自分らしく自立した生活をおくれる環境にあると感じますか。	250	/	254	504	49.6%	19					
	見守り支え合うまちづくり	⑱	住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。	248	/	260	508	48.8%	20					
	みんないきいき元気なまちづくり	⑲-1	保健・医療体制が充実し、市民の健康づくりが進んでいると感じますか。	307	/	195	502	61.2%	11					
		⑲-2	あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。	469	/	51	520	90.2%	1					
F 自治・行政運営	地域を愛する人づくり	⑳	あなたは、まちや自分の住んでいる地域への愛着や誇りを持っていますか。	385	/	119	504	76.4%	2	733	573	1,306	56.1%	4
	市民と行政の協働	㉑-1	あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。(複数回答可)	173	/	316	489	35.4%	25					
		㉑-2①	自治会活動	/	133	/	/	/	/					
		㉑-2②	PTA活動	/	27	/	/	/	/					
		㉑-2③	自主防災組織活動	/	20	/	/	/	/					
		㉑-2④	子どもや高齢者の見守り	/	32	/	/	/	/					
		㉑-2⑤	あいさつ運動	/	29	/	/	/	/					
		㉑-2⑥	環境美化活動	/	57	/	/	/	/					
		㉑-2⑦	介護ボランティア	/	13	/	/	/	/					
		㉑-2⑧	地域行事の運営	/	50	/	/	/	/					
		㉑-2⑨	その他	/	31	/	/	/	/					
	㉑-3	「いいえ」の人 今後「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」と思いますか。	175	/	138	313	55.9%	/						

6分野のうち、特に力を入れてほしい分野をおたずねしました。

分野	設問	R4			R3			R4-R3比較			
		個別 選択肢	割合	順位	個別 選択肢	割合	順位	個別 選択肢	割合	順位	
まとめ	A	教育・文化	60	12.5%	5	100	16.8%	3	▲40	▲4.3%	▲2
	B	産業・雇用	68	14.2%	3	96	16.1%	4	▲28	▲1.9%	1
	C	生活・環境	141	29.4%	1	151	25.4%	2	▲10	4.1%	1
	D	安全・安心	63	13.2%	4	65	10.9%	5	▲2	2.2%	1
	E	健康・福祉	130	27.1%	2	156	26.2%	1	▲26	0.9%	▲1
	F	自治・行政運営	17	3.5%	6	27	4.5%	6	▲10	▲1.0%	0
		合計		479	100.0%		595	100.0%		▲116	▲0.0%

R3										R4-R3																			
回答数 (人)					設問の「はい」					回答数 (人)					設問の「はい」					回答数 (人)					分野の「はい」				
はい	個別 選択肢	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	個別 選択肢	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位	はい	いいえ	有効 回答数	割合	順位			
361		213	574	62.9%	11						▲ 51		▲ 38	▲ 89	1.0%	1													
296		293	589	50.3%	21						▲ 46		▲ 39	▲ 85	▲ 0.7%	2													
303		292	595	50.9%	20	1,867	1,099	2,966	62.9%	3	▲ 55		▲ 32	▲ 87	▲ 2.1%	0	▲ 283	▲ 164	▲ 447	0.0%						0.0%	1		
367		232	599	61.3%	13						▲ 60		▲ 37	▲ 97	▲ 0.1%	2													
540		69	609	88.7%	1						▲ 71		▲ 18	▲ 89	1.5%	0													
459		141	600	76.5%	4						▲ 74		▲ 22	▲ 96	▲ 0.1%	2													
191		398	589	32.4%	24						▲ 18		▲ 82	▲ 100	3.0%	▲ 1													
	156											156																	
	30											30																	
	15											15																	
	36											36																	
	33											33																	
	66					839	711	1,550	54.1%	5		66					▲ 106	▲ 138	▲ 244	2.0%						2.0%	1		
	9											9																	
	47											47																	
	21											21																	
189		172	361	52.4%							▲ 14		▲ 34	▲ 48															

設問別「はい」の割合



A 教育・文化

B 産業・雇用

C 生活・環境

D 安全・安心

E 健康・福祉

F 自治・行政運営

(2) 分野別評価

項目比較での順位は、次のとおりです。

【分野別肯定評価】

分野別の肯定評価を受けた上位3位は「D安全・安心」分野、「E健康・福祉」分野、「C生活・環境」です。6分野中5分野が50%を超えています。

最も低い評価となったのが「B産業・雇用」分野で50%を大きく下回っていますが、昨年度より、3.5ポイント肯定評価の割合が上がっています。

昨年度と比較して「B産業・雇用」分野は3.5ポイント、「F自治・行政運営」分野は2.0ポイント肯定評価の割合が上がっています。「A教育・文化」分野は8.6ポイント肯定評価の割合が下がっています。

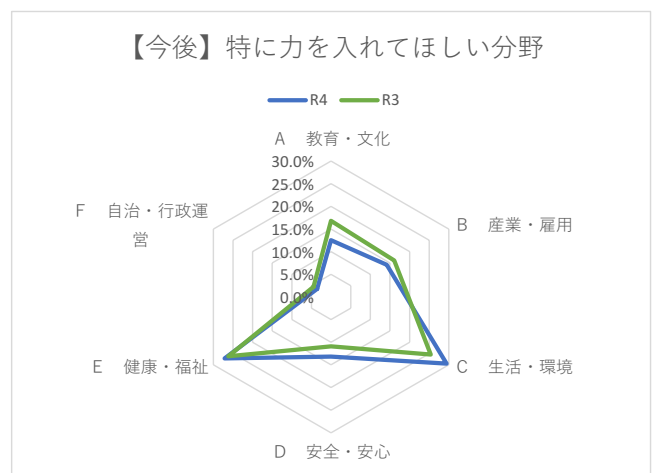
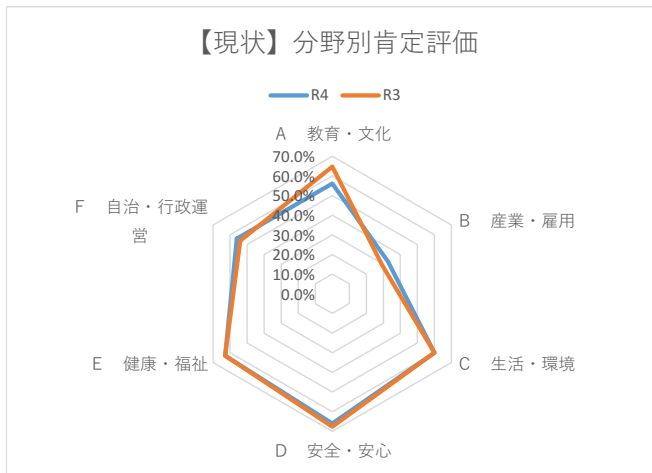
【特に力を入れてほしい分野】

特に力を入れてほしいと思う分野の上位3位は「C生活・環境」分野、「E健康・福祉」分野、「B産業・雇用」分野です。この3分野の合計は約70%となります。

最も低い評価となったのが「F自治・行政運営」分野でした。

昨年度と比較して「C生活・環境」分野は4.0ポイント、「D安全・安心」分野は2.3ポイント、「E健康・福祉」分野は0.9ポイント回答割合が上がっています。「A教育・文化」分野は4.3ポイント、「産業・雇用」分野は1.9ポイント、「F自治・行政運営」分野は1.0ポイント回答割合が下がっています。

分 野	肯定評価の割合		順 位		特に力を入れてほしい分野		順 位	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
A 教育・文化	56.1%	64.7%	4	2	12.5%	16.8%	5	3
B 産業・雇用	32.8%	29.3%	6	6	14.2%	16.1%	3	4
C 生活・環境	60.0%	60.0%	3	4	29.4%	25.4%	1	2
D 安全・安心	66.0%	67.6%	1	1	13.2%	10.9%	4	5
E 健康・福祉	62.9%	62.9%	2	3	27.1%	26.2%	2	1
F 自治・行政運営	56.1%	54.1%	4	5	3.5%	4.5%	6	6



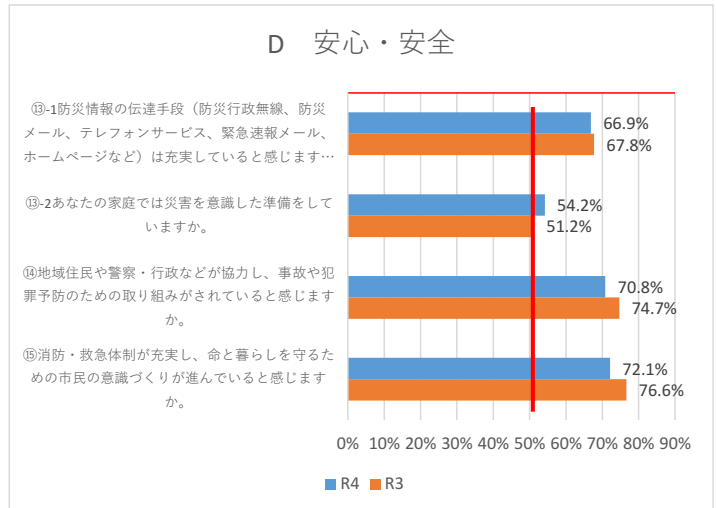
【設問別順位】

肯定評価の上位3位及び下位3位の設問の状況は、次のとおりです。

順位	分 野	設 問	「はい」の割合	
「上位」	1	E 健康・福祉	⑱-2あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。	90.2%
	2	F 自治・行政運営	⑳あなたは、まちや自分の住んでいる地域への愛着や誇りを持っていますか。	76.4%
	3	D 安全・安心	⑮消防・救急体制が充実し、命と暮らしを守るための市民の意識づくりが進んでいると感じますか。	72.1%
「下位」	25	F 自治・行政運営	㉑-1あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。	35.4%
	26	B 産業・雇用	⑤地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	35.0%
	27	B 産業・雇用	⑥大竹に魅力を感じ、市外から多くの人が訪れていると感じますか。	18.8%

【分野別評価第1位】 D 安全・安心

4項目中すべての項目で、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。「⑬-2 あなたの家庭では災害を意識した準備をしていますか。」の設問に「はい」と答えた人の割合が他の設問よりも低くなっていますが、昨年度と比較してこの項目のみ「はい」の割合が上がっています。今後も、市民レベルでの防災意識をより一層高めるための取り組みが重要と考えます。



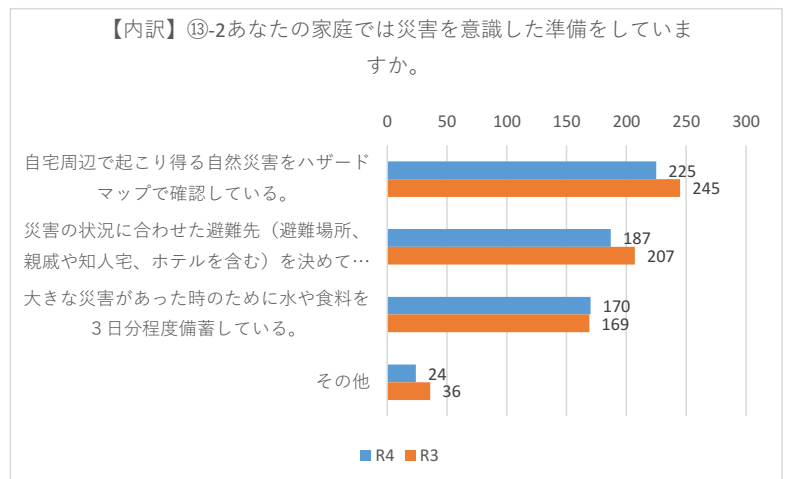
【設問ごとの主な取り組み】

- ⑬ 崩壊の恐れのある宅地背面の安全対策、河川や水路に堆積した土砂の浚渫（しゅんせつ＝取り除くこと）
- ⑭ 警察や防犯連合会など各種団体と連携、巡回パトロールなど地域の見守り体制の強化
- ⑮ 心肺蘇生法の講習会を開催、救急の日(9月9日)に広報活動を実施

【内訳】 設問⑬-2

家庭での災害を意識した準備で最も多かったものが「ハザードマップの確認」で、最も少なかったものは「災害があった場合の食料等の備蓄」でした。

「その他」の回答の内訳としては、「家族それぞれスマホ所持」「台風等で予報によって行動すること」「歩くのが難しいので、何が起こっても家にいる」「近所の人との協力」「避難の難しい人の手助け」「持ち出しやすいように大事なものは一つにまとめている」などがありました。



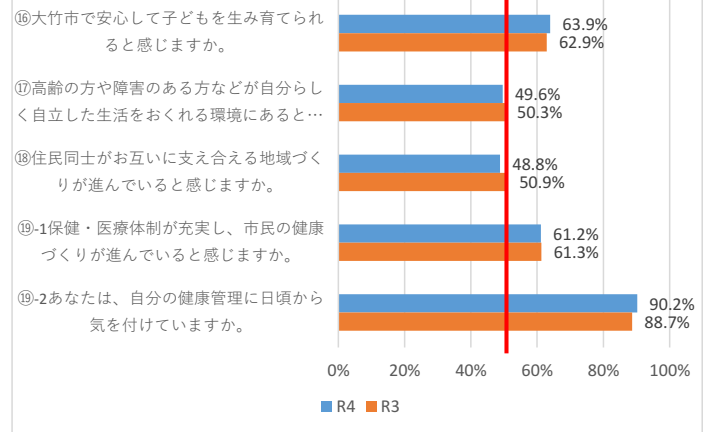
【分野別評価第2位】 E 健康・福祉

5項目中3つの項目で、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。特に「⑱-2 あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。」は、90.2%と全体で最も高く、また、昨年度比較で、1.5ポイント、「はい」と答えた人の割合が上がっており、市民の健康意識の高さが伺えます。

また、「⑯大竹市で安心して子どもを生み育てられると感じますか。」は、昨年度比較で1.0ポイント上がっています。今後も評価していただけるよう子育て支援施策への取組が必要と考えます。

一方、「⑰高齢の方や障害のある方などが自分らしく自立した生活をおくれる環境にあると感じますか。」や「⑱住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。」が、「はい」と答えた人の割合が50%を割り、昨年度比較でポイントが下がっており、今後は、誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送るための地域福祉の充実が重要と考えます。

E 健康・福祉



【設問ごとの主な取り組み】

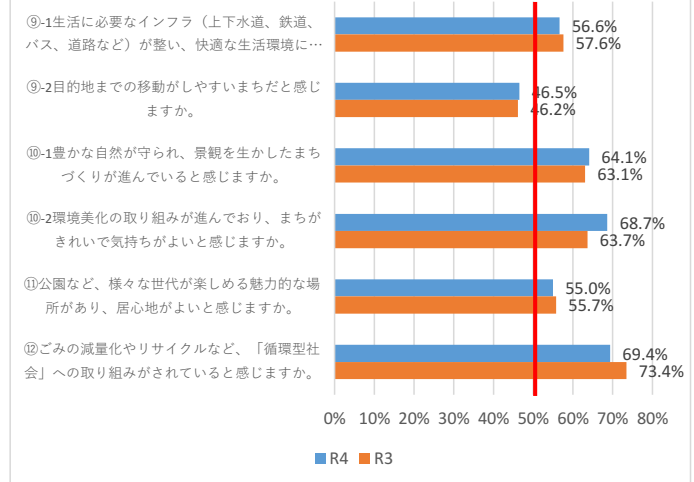
- ⑯ 子育て家庭へのワンストップ支援体制の構築（市役所、保育施設、子育て支援センターを同一敷地内に集約）
- ⑰ 生きがいに満ちた高齢者の暮らし支援、障害のある人が自分らしく生きるための支援
- ⑱ 警察との連携による「はいかい高齢者SOSネットワーク」や事前登録による「見守りタグ事業
- ⑲ 無料または低額で受けられる各種健診（一般健診、がん検診、歯科健診など）の実施

【分野別評価第3位】 C 生活・環境

6項目中5項目で、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。特に「⑫ごみの減量化やりサイクルなど、「循環型社会」への取り組みがされていると感じますか。」は、昨年度比較で4.0ポイント下がっていますが、69.4%と全体で最も高く、環境にやさしいまちづくりへの意識が高まっていることが伺えます。また、昨年度比較で「⑩-1豊かな自然が守られ、景観を生かしたまちづくりが進んでいると感じますか。」は1.0ポイント、「⑩-2環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちよくなりますか。」は5.0ポイント上がっており、市民活動などによりまちの景観が守られていることが評価を上げていると考えられます

「⑨-2 目的地までの移動がしやすいまちだと感じますか。」に「はい」と答えた人の割合が50%を切っており、地域における公共交通のあり方などが今後の検討課題と言えます。

C 生活・環境



【設問ごとの主な取り組み】

- ⑨ 持続可能な良好で賑わいのある都市づくりを目指したマスタープランの策定
- ⑩ 自治会などの清掃活動の支援、沿道への市民花壇を設置する活動への支援
- ⑪ 遊具点検など、公園の適切な維持管理、地域の清掃活動などへの支援
- ⑫ 川の生き物観察会や小瀬川干潟観察会、小学校への出前講座などの開催

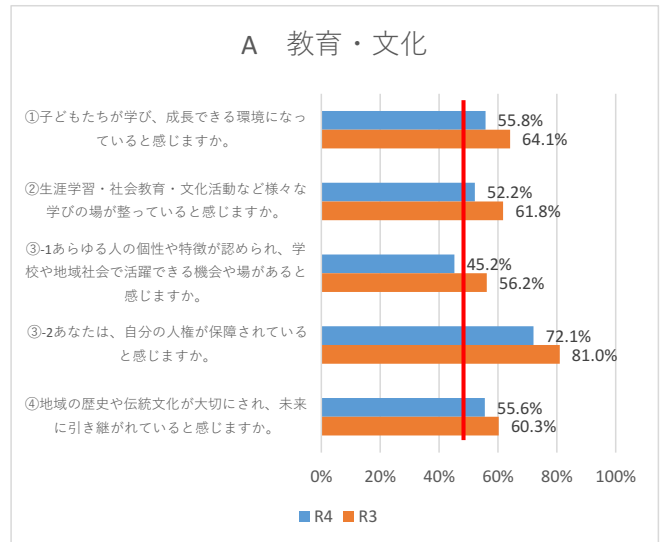
【分野別評価第4位】 A 教育・文化

5項目中4つの項目で、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。「③-2 あなたは自分の人権が保障されていると感じますか。」は、72.1%と全体で2位の高い評価でした。

昨年度比較ではすべての項目において「はい」の割合が下がっています。最も下げ幅が大きかったのは「③-1あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。」の項目で、11.0ポイント下がっています。そのほかの項目でも9.6から4.7の値のポイントが下がっています。

「③-1あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。」は分野中最も低い評価となっており、50%を下回っています。

今後は、学校教育・社会教育への取組をはじめ、市民一人ひとりの多様性を尊重し、それぞれの立場や実情に応じた活動・活躍の機会や場を充実させていくことが重要と考えます。



【設問ごとの主な取り組み】

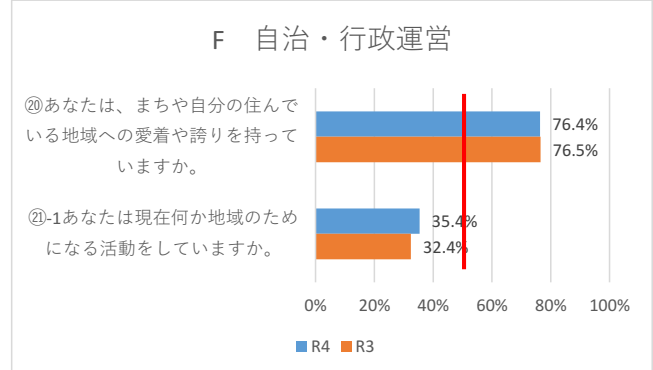
- ① 小・中学校の連携強化、ICT（タブレット学習）の活用
- ② ライフステージに応じた講座・講演会などの開催
- ③ 人権啓発や男女共同参画、多文化共生の推進
- ④ 学校での郷土の歴史を学ぶ機会の提供、手すき和紙などの伝統文化の保存・継承

【分野別評価第4位】 F 自治・行政運営

「②あなたは、まちや自分の住んでいる地域への愛着や誇りを持っていますか。」は8割近い人が「はい」と答えた一方、「②-1あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。」に「はい」と答えた人は3割程度に留まっています。

昨年度と比較すると「②-1あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。」は3.0ポイント上がりました。

まちづくりの原動力となる市民一人ひとりの地域やまちへの愛着心を、地域づくり活動などの活発化につなげることが今後の課題と言えます。



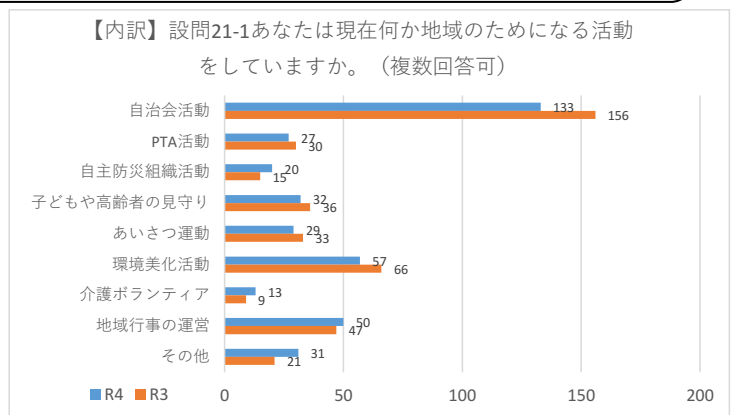
【設問ごとの主な取り組み】

- ②0 学校などでまちづくりに関する授業を実施、ホームページやフェイスブックなどによる情報発信
- ②1 自治会の活動費助成、地区集会所の新築・修繕、コイ・こいフェスティバル開催費用補助

【内訳】 設問②-1

最も多かったものが「自治会活動」で、「はい」と答えた人の7割以上が参加しています。

「その他」の回答の内訳としては、「消防団」「ボランティア（絵本の読み聞かせなど）」「神楽」「高齢者の見守り活動」「シニア会、老人クラブ」などがありました。

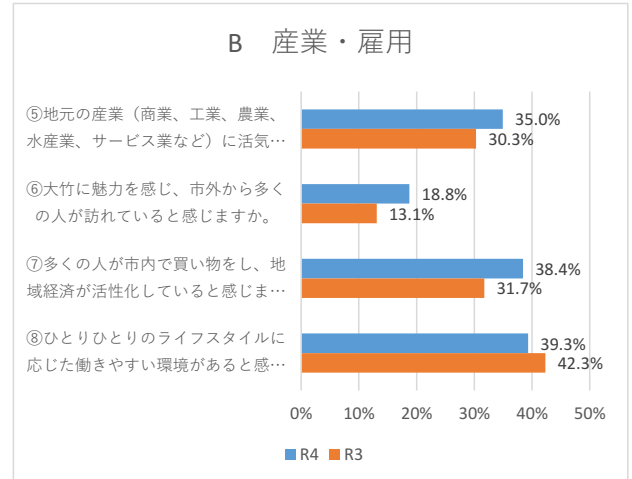


【分野別評価第6位】 B 産業・雇用

4項目中すべての項目で、「はい」と答えた人の割合が50%を切っています。特に「⑥大竹に魅力を感じ、市外から多くの人が訪れていると感じますか。」に「はい」と答えた人は昨年度比較で5.7ポイント上がりましたが、依然2割にも満たない結果となっています。

昨年度比較で「⑦多くの人が市内で買い物をし、地域経済が活性化していると感じますか。」6.7ポイント、「⑤地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。」は4.7ポイント「はい」の割合が上がっています。

新型コロナウイルスによる行動制限が終わったこともあり、経済の活性化を感じている人が多いように考えられますが、市外の人にも市の魅力が伝わるよう情報発信の強化や、新たなまちの魅力の創出などが今後の課題と言えます。



【設問ごとの主な取り組み】

- ⑤中小企業支援（商品開発、販路拡大、経営相談や融資など）
- ⑥観光資源や観光ルートの開発促進、商業施設などでの大竹生まれの商品のPR
- ⑦産業振興奨励金の交付、商工業におけるデジタル化（キャッシュレスなど）の推進
- ⑧関係機関と連携した勤労者の支援、働き方改革などの啓発

(3) 分野別の自由意見

【特に力を入れてほしい分野】と回答した理由などを一部抽出して紹介します。

「A教育・文化」分野

- ・子育てしやすい環境を作ってほしい。
- ・優秀な人材（先生）の確保。
- ・物価が上がるばかり。子供に勉強・宿題等教えることのできる親ばかりではない。塾に行かせたら。でも月謝が高く、通わせることは難しい。各地域の公民館等で大学生や一般の方々から常にだれかが子供達に指導できる体制があれば、大竹全体が向上します。勉強ボランティアグループの体制をととのえてください。
- ・高齢化が進むと言われているが、子どもの学習環境（設備）の老朽化を感じます。体育館など子供たちをもっと自由に利用できるようなになればいいと思います。
- ・①大竹祭はめずらしく素晴らしい。PR。②前のようなやぐらを組んだ盆踊りの復活。青年団の復活等。若い人たちの活動を望む。
- ・歴史、伝統文化等を伝承する施設がない。亀居城、西国まち道等の古文書類が見れない、散逸している状態を残念に思っている。
- ・音響施設の整ったコンサートホールがあればいいと思います。
- ・少子化が進んでいる中で子どもの教育は大変大切である。学校が地域と連携するとともに学校への人的支援を市としてももっと増やしてほしい。
- ・もっと大竹の歴史や良いところを発見再認識できるような施設等がない。例えば、歴史民俗資料館のようなものが近隣市町にはあるが、大竹にはない。中世から近代昭和まで大竹は歴史にあふれているがそれを紹介する施設もないので知る機会が乏しい。もっと大竹の歴史を掘り下げ広く周知するべき。
- ・小学生のランドセルを軽量化してください。ナイロン製が軽くて良いと思います。あの坂道は大人でもきついです。
- ・子供たちが健やかに伸び伸びと育ち学べる環境づくり。
- ・文化面の施設に立ち遅れを感じる。
- ・石本美由紀という人がいるのに何も日本人に知られていない。残念です。大竹市内には外食するところが特別になく、岩国や広島方面に行ってる。
- ・もっと市民団体を活用すべし。
- ・とにかく子ども、若者を増やすこと。
- ・少子化により子どもの数が減っているので教育に手厚く力を入れてほしい。
- ・大竹市の歴史遺産を保存・活用し故郷の魅力を高める。博物館の設置。
- ・大竹独自の児童への支援金給付の強化。廿日市市大野にあるフジタスクエアまるくる大野のような児童向けの施設造設してほしいです。出産のできる産院や病院の充実。
- ・子どもの教育を大事に考える行政であってほしいと思います。それに伴う文化度があることを望んでおります。
- ・教育の無償化。
- ・若い人が子どもを大竹で育てよう、大竹に住んでみたいと思うようなものが必要。
- ・こいこい祭りのような比較的大きなイベントの開催！！(市内、市外からの出店、子どものダンスなどの発表の場)
- ・子どもがストレスなく育つ。遊び場にもっともっと力を入れてほしい。子どもにとっては大竹は楽しくないと同時に親もストレスを抱える。
- ・小学校区ごとの地域性を大切に行政をしてほしい。児童が他の小学校区に通学する姿を見ると、とても残念です。
- ・耐震性・老朽化等あろうと思うけど、小方小中があの場所じゃあいかかなものか？市外からの若い世代を呼び込めないと思う。
- ・広島大学などの化学系大学院の誘致や広島カープOBを市職員として雇って晴海に野球アカデミーをつく
- ・住宅地にて側溝に蓋がなく、特に子供達や歩行者にとってもとても危険を感じる。田舎でも当たり前のことが疎かになっている地域は戸惑いました。

- ・自治会に対する補助金
- ・子供の習い事などもっと選択枠があるといいなと思う
- ・土曜に工作作り教室など無料の教室をしてほしい。
- ・スイミングスクールやパソコン教室など近場にあればいいなと思います。母子家庭だと子どもを送迎するのが難しいことが多いので。
- ・託児所等女性が働きながら育てる環境

「B 産業・雇用」分野

- ・若者が定住できない。働き場がない。災害が起ころうと助けてもらう人がいない。老人のまち化している。
- ・宣伝をもっとうまくした方がよい。
- ・昔のように個人企業、商店が激減している。通りの中には昼間シャッターが閉まっていたり人の往来が見られない。ただ車が往来するだけのまちになっているのがさみしく感じる。だんだん人口が減りまち自体が成り立たなくなるのでは。
- ・観光（和紙、亀居城、石本美由紀記念館、下瀬美術館、小瀬川の渡し、弥栄ダム等のアピールUP）に力を入れて大竹を活性化する。
- ・人口増加をめざすため、働く場を用意してほしい。
- ・雇用がないと県外へ出ていく人が多いと思うから。
- ・雇用が進めば遠くへ出ている人も大竹に帰ってくるはず。
- ・まちづくりは雇用が一番。将来石油企業は衰弱。これに変わる企業誘致が必要でしょう。
- ・隣接都市に比べまちに活気がない。ゴーストタウンになりつつある。
- ・雇用があれば人が集まり、市が繁栄。当然若年層が居住し、子どもが増え、人口増加促進。
- ・大企業が多くどのくらい大竹市に住民がそこで正規社員として働いているのか。撤退の可能性はないのか。多種多様な仕事があれば若者も意欲がわくと思う。
- ・若い人たちが大竹に残っても働く場所がないので、広島などに出ていく、このままでは老人たちの市になっていき、いずれなくなる市になってしまう。
- ・若い人が、働ける企業が少ないので、若い人がみんな大竹を出ていくので、年配の人ばかりになるので不安。
- ・飲食店が少ない。メジャーな飲食チェーン店を誘致していただきたい。
- ・大竹市の人口が減少している。若い方が働くやすい環境を望みます。駅前、商店街に活気があってほしい。
- ・個人としての経済レベルの向上。人が集まり、税収を確保できる。
- ・人が立ち寄るまちを作り（道の駅他）そこで雇用が生まれると思います。市の発展を工場、会社頼みにするのではなく、工場のまちから人が立ち寄るまちにシフトチェンジするときだと思う。
- ・若い人が終身雇用されず苦しんでいる。
- ・駅前商店街の活性化対策を。魅力あるまちづくりを早急におねがいしたい。
- ・人口減が毎年△280人前後で推移している。地域経済の活性化がより必要である。'21(26,611人) '22(26,335人) '23 (26,059人)
- ・少しづつ衰退していると思う。元々大竹の商店は顔見知り以外に「あいそ」がないと言われている。私は慣れているが一般の方には「NG」コロナ過でさらに加速しているので心配。
- ・大竹ならではの特産物・名産物をショッピングモールや道の駅などの商業施設で扱えるようにすれば雇用も生まれ、市外からの人の流もできるのでは。
- ・どうしても働くとなると工業が多く、事務などが多い。今の時代パソコンがなくてはなかなか働けないが、人と人とのコミュニケーションの場を設ける仕事場を作ってほしいと思う。
- ・ファミリーレストランが少ない。誘致して増やしてほしい。
- ・高齢者が働ける職場の充実。
- ・今、少子高齢化で空家が目立つが、企業誘致等で職場を増やし、若者を集める（東広島のように）。空地、空家は若者の住居として提供し、結婚・子育てには市が応援することで、人口の増加を図る。
- ・若い世代が地元で買い物をするようになってほしい。遊び、服、雑貨などの店が少ないため、若い子は廿日市まで足をのばす。

- ・近所に商店がなくなり、車やバスで大型店に行かなければならない。バスは1時間当たりの本数が少なすぎて利用しづらい。
- ・まちづくり基本構想がはっきりしない。基本計画（クラウドデザイン）を示してもらいたい。
- ・大竹の財政もそんなに豊かではないと思うので、産業になるものを増やして、アピールしてもらって、うっておってもらえたらいい。
- ・商業のまち、企業のまち大竹市？なぜ市の財政が悪いかは政治・行政が悪いのか？
- ・地元食材のアピール。
- ・会社を退職した人も次の仕事を始められる雇用制度がほしい。
- ・大竹市以外の人が、大竹市に行ってみたいと思う、魅力的な大竹市になってほしい。
- ・大型ショッピングセンターは便利ですが、子どもがまち中で立ち寄れる小売店が少なくなるのは寂しいですね。駅も新しくなり、家族で駅前から商店街周辺を歩いて楽しめる日が待ち遠しいです。
- ・観光、飲食など、地域外貨が獲得出来るインフラ整備が意識されていないので、見学、体験などに力を入れてはどうか。工場や漁業現場、農村部の協力が必要。
- ・人が集まれば市民が増えて好循環なまちになると思う。
- ・雇用が生まれると人口増加につながる。企業や商業施設などの積極的な招致を進めてもらいたい。
- ・買い物や食事する施設が少ない
- ・人口を増やす為には産業誘致が早道
- ・行政と企業の連携をより進め、教育施策や行政業務の効率化につなげるとよいと思います。
- ・氷河期世代の雇用促進を行い、活気ある人作り。
- ・日常の買い物に関してはある程度満足しているが、外部からわざわざ大竹市まで来ようと思う施設が少なく感じてしまいます。岩国市や廿日市市など近隣の人たちを取り込めるようにSNSなどを用いた積極的なプロモーション活動を展開してみたいはかがででしょうか。
- ・不登校児童ゼロのまち。障害者の法定雇用率達成のまち。

「C生活・環境」分野

- ・フリーマーケットやマルシェなどもっとあると楽しいかも。
- ・区画整備、移住地区の統廃合などを行い、道路水道等のインフラスリム化を促進、住みやすいまちになると良い。活気あるまちづくりのために希望する個人の情報ネットワークを運営し、スポーツ芸術の活動グループを支援するなど望む。
- ・老人が安心して暮らせるようにしてほしい。
- ・大竹市でもまちから離れた地区、例えば栗谷とか買い物が困難。こちらに出てもバスの時間まで待たないといけない。こっちから行くのも何もないので時間が余る。
- ・小方駅等のインフラ整備が全然できてない。予定はあるのか？
- ・もっと交通の選択肢を増やしてほしい。
- ・道路の整備（白線等が消えかかっている）、スーパー等の誘致（車がない人や体が弱い人などが困る）、荒地、空家等、危険な場所の整備。
- ・飲食店が少ないので多くする。
- ・平成26、平成30年に大雨で、自宅も含めて近所中、床下浸水被害にあいました。下水道、排水の強化をしてほしいです。大雨警報塔出ると不安です。
- ・小川？等にしだいに土砂が増え浅くなっているところがある。ほかのことは自分で努力すれば少しは改善できる。
- ・車がなくても自由に行き来できるまちにしてほしい。
- ・物価が高くなってきているので、大竹市がもっと栄えようになにかしてほしい。工場のおいが臭いときがある。何とかありませんか？
- ・バス・道路の整備と商業の発展。
- ・道路から1mのところは年1度2回草刈りをしてもらっている。だけど国や県や市は路地は道路から2～3m以上あるところもある。誰が草を刈るの？
- ・高齢者は免許を返納すると山間部（栗谷）では買い物・通院に困り、ほかの場所に住む家族の助けを借りないと生活できない

- ・もっとこまめに道にある草や木を伐り、見通しの良い歩道や道路を確保してほしい。
- ・廿日市～広島市内や岩国市より商業施設の充実がない感じがする。（特に若い人向けの）バスの便が少ないこと、必要な場所が停留所になっていないこと。
- ・空き家が多い。荒れている。
- ・使用していない住宅地に若い人が住める。住居を建ててほしい。もしくは、土地を販売してほしい。人口増がつながるように思う。
- ・移動手段の拡大
- ・高齢者や体の不自由を感じている方々が日々生活に必要な品々を買いやすいことができると良いと思う。現在の状況の中での活性化は難しいのかも。
- ・インフラ整備に力を入れてほしい。こいこいバスの停車箇所、ルート追加など通学ときにも利用できればなおいい。
- ・高齢者は買い物難民になっています（日常の買い物）。市内から晴海に物品食品等が移っているので、旧大竹市内は車に乗れないものは不便です。
- ・朝夕の交通渋滞の解決に向け努力してほしい。
- ・買い物が不便。車に乗れるときは良いが、免許がなくなると買い物ができなくなります。
- ・その場だけでなく、年数をかけて実施できる計画が必要と思う。
- ・物価高で生活が楽でない。
- ・土砂崩れなどの整備。
- ・交通の便が悪い。
- ・僻地への配慮。
- ・若い人たちの流出を感じるので大竹市で一生過ごしたいと思えるような政策・施設の建設があればと思う。ご飯屋さん、スポーツショップ、映画館など、若年家族の家賃補助、出産祝いなど。
- ・道路の整備を進めてほしい。ウォーキングをしています、歩道のデコボコが激しい場所が目立ちます。
- ・大竹市は他市より高齢者も多く、車の免許を返納されている方も多いと思います。買い物に行ったり、病院に行くのも大変そうでそういう環境を整えていく必要があると思います。
- ・玖波青木線のまち路樹を切ると歩道が広がる。整備にかかる費用を公園整備にあてる。
- ・青木線のまち路樹など手入れがされると、みて気持ちが良いだけでなく、安全なまちという印象になる。
- ・小売店（専門店）がないので市外に出かけないと買い物できないのが高齢者には不自由。商店街が大竹にはない。
- ・海側は便利がいいかもしれないけど、いざ地震・津波が来たときは避難場所に移動するまで大丈夫だろうかと思う。騒音も気になり道路の渋滞も気になる。山側も交通の便が悪いと感じる。天候によるバスの運行状況が気になる。
- ・広島県警察のアプリを入れているが、不審者情報が週1くらい届く（主に廿日市だが）。だから安全面に不安を感じている。
- ・自分が車を運転できなくなった際の移動手段に不安を感じる。岩国市のような高齢者にタクシー券等配布があれば病院や買い物もしやすくなるのでは。
- ・バスがない
- ・玖波地区にはお店が少ない。車がないと買い物にバス、タクシーに頼るしかない。不便です。
- ・安い土地を開拓し、若い人が家を持ち、安心して生活できる環境づくり。道路等の整備。
- ・家族が車なしの生活になったとき、病院への交通手段がタクシーのみになってしまう（バス停まで遠い）。また、家族が自転車での買い物をしたくても、道がガタガタで卵が割れたり、その他買ったものが飛び出たり傷ついたりする。
- ・JRの利便性の向上。
- ・高齢の方が移動しやすいまちだとは思わない。
- ・地域における介護ボランティアの対策に力を入れて。※認知の人間対策を。
- ・雑草や竹の処理等。※約束したことは守るようにして。嘘はいけない。
- ・市全体が保守的で活気不足の感が強い。昔ながらのお店等を支えたいが魅力がないので他市で買い物をし、市内にはお金が落ちない。高齢者になると近くのお店ですべての物が揃うような便利な環境づくりに力を入れてほしいです。

- ・安心安全なまちづくりを強く推進していただきたい。今の行政の実態は例えば大竹市には救急車・消防車が通れない2m程度の道が数多くあります。行政は市民から改善要望があった場合積極的に関与し、改善を図っていただきたい。今は市民任せ。
- ・栗谷の三倉岳のふもとに住んでいるが山林が年々荒れています。山を整理すると水もよくなり、災害も減り、農業もよくなり、海の水もきれいになり、すべてが素晴らしい環境になります。人と時間はかかりますが、地方・国が積極的に取り組んでほしい。
- ・介護認定を決定するのが遅いので、もっと手順を早くしてほしい。介護認定を受けた人が入院中はケアマネージャーが付かないのはなぜか。どこか入所したくてもケアマネージャーが受け付け渡しをするみたいで、ゆうあいの里は一般人（家族）が入所希望場所に行ってもケアマネージャーがいないと話を聞いてくれなかった。おかしいです。
- ・旧小方小学校の跡地、まちの活性化に有効に活用してほしい。若い人を呼び込む住宅地が望ましい。
- ・大竹市も例外なく、高齢化が進み地域的にみて、駅（大竹・玖波）近辺は非常に開発が進み、便利になったが、一步奥（栗谷、松ケ原、川手地区）に入ると生活の足がなく、高齢者は不便に感じているのでは？
- ・どこに行くにも交通が不便。こいこいバス等交通機関の見直し整備（運行間の見直し、まちの隅から隅まで運行してほしい）。
- ・町内に食料店がなく困る。
- ・山間部の人口減少対策（早期に）、若者が住みよいまちづくり（現状では子供が育てにくい）、せめて子育てが終わってから帰れるまちづくり。
- ・まずは物価が上がり、生活するのがどんどんがまんばかりになり、不安が多くなっている。子供もストレスになる。バスが必要なところに、バスが来なくて困っている。もっと必要なところを考えてほしい、団地の上など。平地ばかり走っている。
- ・市内一円にバスの運行をしてほしい。
- ・工業地帯の為、公害。異常現象の対策。
- ・静かで平和なまちだと思いますが、玖波に1件も店がないことは年寄りには大変不便です。
- ・新築を建てるのは良いですが、将来のことを考えて（建て替えや解体など）、道路や隣近所との間を空けるようにしてほしい。現在住んでいるところは道が細く重機が入れない。まわりは空家や柿の木が、植えてあるだけの畑（春から夏にかけて雑草が多く、道に出てきている。手入れをされないのので、蚊が増え、蜂が巣を作ったり、野良猫が繁殖している。秋は柿が実ってもそのままなので、カラスや他の鳥が荒らし、家のベランダや道が糞だらけになり、衛生上体に悪影響である。）があるだけで使用しないのであれば、住んでいる人のことを考えて、道幅を広げてほしい。
- ・物価高騰の中、年金生活者は生活が苦しいと思われます。市として食料等の購入を補助するクーポン等出したらと考えます。
- ・大竹駅前周辺の活気を取り戻してほしい。
- ・自然豊かなまち
- ・大河原山→何か活用できませんでしょうか？
- ・道路のヒビ割れを直してほしい
- ・物価が高い。
- ・市民プール（幼児、子供用）の開設。
- ・宮島とのつながりを感じられる景観を意識したまちづくり。下瀬美術館を核とし、地域に質の高い場所（風景）を広げていく計画をしてほしい。
- ・風向きによって工場のおいが気になる。JR小方駅をつくってほしい！
- ・防災への対策
- ・高齢者や障害者のためにももう少しバリアフリー化を増加したらどうでしょうか？犬や猫のフン対策とたばこのポイ捨てをなくしてほしい。
- ・毎日JR利用しています。大竹駅も新しくなり、気持ちいいと思ったのは最初の数日だけでした。空のペットボトルや食べ物のごみは捨てずに放置。新しいのに駅の階段は汚く隅には砂やほこりが玉になっています。市外からの方も多い駅。市の予算でピカピカの駅にしてほしいです。駅は市の顔です。
- ・もっとみんなの憩いの場があればいいと思ったからです。大竹にも草花の好きな人は多いと思うので、例えばオープンガーデンみたいなものがあればいいなと思いました。
- ・生活しやすいまちづくり(小方駅の新設)などをしてほしい。

- ・ 現在、小方地区に住んでいるのですが、最寄りが大竹駅もしくは玖波駅と双方とも少し距離があるので、JR小方駅があれば小方地区周辺の方達の移動が便利になると思います。
- ・ 居酒屋を増やして欲しい
- ・ 商業施設がもう少し欲しい
- ・ 歩道整備が遅れている。道路を歩道の高さに合わせることで、歩道が平らになり、歩きやすくなる。ベビーカーや車椅子を使用する際、安全に移動できる。
- ・ 家から1キロ以内に駅が欲しい
- ・ 豪雨による局地的冠水を防いでいただきたいです。
- ・ 小方地区をもっと繁栄させて欲しい。JRの駅があればいいと思う。
- ・ 市内巡回バスなどの交通網が届かない地域では、買い物や通院に困っている。
- ・ 自然の豊かさを感じられること 例えばトレッキングコースの整備など
- ・ 生活しやすいまちづくりをしてほしいから。
- ・ 電車の本数が少ないことや大野浦止まりの電車があること。
- ・ 生活環境は大竹への移住の魅力に繋がる。
- ・ 2号線の歩道について、段差をなくしたり、道を広くしてほしい。また、街灯も少ないため増やしてほしい2号線の歩道は。
- ・ 商業施設の誘致 玖波地区に
- ・ 交通機関などの不便さが目立つから。
- ・ 気さくに話し合える場所

「D 安全・安心」分野

- ・ 道路標識や曲がり角の鏡等。
- ・ 大竹高校の下に信号機を設置してほしい。
- ・ 異常気象などの対策が十分でないと思うから。
- ・ 街灯が少なすぎる。子どもが通学するエリアに防犯カメラを設置してほしい。夜道が暗すぎる。
- ・ 歩道を広くしてほしい。
- ・ 老人が一人暮らしでも安心して暮らせるように。
- ・ 自然災害の防止(大雨・地震)
- ・ 地域の安全、不安なことをきいてほしい。
- ・ 大型車が多く通行するのに、道路幅が狭く、歩道もなく、側溝にフタもなく、危険がいっぱい。そのうえ道路が凸凹で大型車が通るたびに家がゆれる。
- ・ 危険場所の整備(がけ崩れ)
- ・ 自転車の運転マナーが悪すぎる。ヘルメットの前に交通ルールを指導してほしい。事故が起きても仕方がない。
- ・ 高齢者宅への声かけ。
- ・ 市内の道路(路面)状態が悪く、歩行器やベビーカーが使いにくい。カーブミラーが汚れており、確認しづらい、道路の白線が淡くなり、雨の日は特に見えにくい。
- ・ 栄地区に交番がなく、地方の方や海外の方がいるので交流がなく心配。災害ときの高さ、強度、備蓄がされていないと思う。病院もなく、バスもない。
- ・ 雨が多いので、土砂災害がこわい。
- ・ 各自治会に防災委員を選び講習を受けているんなことを知る。例えば、2年ごとに次の人に代わって、いずれ皆さまが関心を持ち知識を得る。
- ・ 中の道や信号のない道路で速度を守らない車が多く老人や子供が多くいるので、整備してほしい。また一時停止の場所を見直してほしい。恵川橋や河野商店の交差点にある一時停止ラインを逆方向につけるべき。医療センターの小児科はなぜ閉鎖されたのか?大竹には大きい病院がなく非常に困る。
- ・ 大竹警察署や交通機動隊のバトカー白バイをよく見かけており、安全安心の面からは信頼できる。交番も少なく警察官の数も少ないと思うので拡充していただけるとより安心感が高まる。県境のまちであることをより意識してほしい。
- ・ 高齢者(一人暮らしの方)が安心して暮らせるよう、特に災害時に若い方の力を借りれるよう願っています
- ・ 消防関係がもっとあるとよい。

- ・高齢者の買い物など巡回バスを数ルート設定し、他の市同様の料金とする。他市へ通学するため、駅に預ける自転車料金を他市並みに安くしてほしい。
- ・見回り強化。警察。地域。
- ・自然災害が増えてきています。避難所へ行っても足腰悪い高齢者はベッドでないと休むことができないので、避難場所へ行くのをためらってしまう。床に座ると立つことができない。段ボールで作る簡易ベッドがあれば、腰を下ろして休んだり横になって休むことができる。足腰の悪い高齢者のためにぜひ避難場所の簡易ベッドを考えてください。
- ・産科がない。
- ・災害（水害）になったとき、高い建物がないので心配。また、そこまで行くのに時間がかかる。
- ・医療
- ・体幹が不自由でサポートカーを使っているが、わずかな段差でスムーズに歩けない。段差を少しでも無くしてほしい
- ・防災無線が一部聞き取りにくく、文章が長いので、何を伝えたいのかわかりにくい。住民にしてほしいこと、知らせたいことをまず最初に短く2～3回言ってほしい。（例：高齢者の方は避難してください。（3回）台風が近づき大雨が降っています。レベル3に達したので明るいうちに避難してください。）ごみ処理での現場の人の声（困っていること、良かったこと）を頻繁に（何回も）広報で知らせてほしい。ごみステーションで残っているごみの写真などインパクトある記事にしてほしい。
- ・市内を通過する車の交通量が多く、そのためによる道路状態が悪化しているが、改善処置が出来ていない。（場所：旧青木線立戸区域道路）
- ・住んでいる場所がコンビナート及び海が近く、自然災害（地震）、土砂発生ときの避難先が少ないと感じています。
- ・自然災害に対する指導方法等の連絡徹底。
- ・大雨になったら、毎回避難しなければならない地区があると観察しています。進歩がない、と感じます。去年のことから教訓を学んで、大雨でも安心できる地区にしてあげてほしいです。
- ・街灯が少なく、夜ひとりで歩くのが怖いです
- ・高齢者の交通マナーが悪い。何回も危ない目に遭った。

「E 健康・福祉」分野

- ・公園の木が大きくなると、何故か切られる。緑の多い静かな公園が大竹市にはない。
- ・病院がなく、クリニックもない。歯科ばかり増えており、内科は少ないので一つのところにたくさん集まって、必要な医療が受けられない。市役所まわり以外もきれいにしてほしい。
- ・平穏無事に過ごすには健康第一。大竹市は福祉等丁寧に取り組んでいるので安心していきます。今後ますますご尽力をお願いします。
- ・歩けること。少しでも良い。足が一番。頑張っております。
- ・高齢者が充実したかかり付け医院を選べる、医療機関が多くなることを望む。気楽に相談や利用できる福祉行政の充実を望む。
- ・各所の集会所での健康へのお話をしてほしい。
- ・このままでは高齢者問題はそのうち息詰まる。
- ・マイカーを高齢者になり、手放したとき。交通手段、ひまわりタクシーを月水金と増やしてほしい。玖波8丁目。
- ・高齢者と子どもが住みよいまちを。
- ・高齢化に伴い、より安心して暮らせる健康・福祉対策を希望します。
- ・健康促進運動、健康一番、地域(市)に運動を広めてほしい。
- ・最近市内の病院が減ってきているように感じるので増やしてほしい。
- ・受診ときの付き添い者の費用がかさみます。介護保険が使えるようにしてほしいです。重度障害者です。
- ・現在健康ですが、いずれ施設に入るようになるかもしれません。入れば相当に費用がかかるとのこと。年金生活では不安です。
- ・隣の町・村の方のお話を聞いてみると集まりやすい取組、たとえば食事会やお茶会など、体力的なこともありますが月1回・週1回とお弁当配りなどして顔が見れる。

- ・ 本町に住んでいますが病院へ行くのに医療費よりタクシー代が高く困っています。
- ・ 高齢者の医療費が軽減することにより安心して住めるような施策を（一時的な人口増ではなく、定住しやすい環境を作り上げることが大事）。
- ・ 今大竹市内には、産婦人科はあるもののお産できる病院がありません。昔のように出産ができる病院があればよいですね。
- ・ いずれ行く道だから。
- ・ 和木町は75才バス無料、岩国市は2級以上の障害者タクシー券等。大竹でも実施してほしい。
- ・ 子どもを産みやすい環境整備（産婦人科誘致など）。
- ・ 独り暮らしで不安がある。
- ・ 運転ができなくなったときの移動。交通等の手段
- ・ 自分の健康や老後が気になるから。
- ・ 小島地区の高齢者が移動できる手段（バス、タクシー）免許返納を進める一方で駅、商業施設等への移動が不便。
- ・ 私も息子の身体障害者のため。
- ・ 75才以上の方が増え続け、いずれ減少するとは思いますが、ますます認知症への理解が必要になります。福祉の充実はもちろんのこと、認知症の方々が集う場、介護している方々が思いを吐き出す場を作らなければいけないと思います。今安らぎの家やオレンジカフェは機能していないし、もっともっと横のつながりができるように行政に動いてほしい。行政さんもしっかり声を吸い上げる努力をお願いします。
- ・ かかりつけ医が閉院していくので、なかなか次のかかりつけ医が見つけれない。
- ・ 認知症や障害のある家族を持つ方々は、人との関わり、つながりを避けているように思える。当事者とその家族が気負わず、集える場所が増えればいいと思う。
- ・ 高齢者世帯や一人暮らし世帯が増加し、地域での助け合いがむつかしくなっている。有効な対策がない。
- ・ 大竹市は介護認定が厳しすぎると言われています。広島から来た福祉施設の職員さんがこれ要支援1とはびっくりされています。また、包括センターに人は皆に不評です。あれで給料もらえてたらいいね、という人もいました。
- ・ 高齢で健康でいることが少しでも長くなれば。
- ・ 医療福祉施設の充実、援助。
- ・ 高齢者の方々が周辺に多いが、一人の人も多いので生活（通院・買い物等）が心配。いずれ自分も年をとるので。
- ・ 後期高齢者に対する対応のレベルアップ。
- ・ 大竹駅中心になっている。木野、元町発展なし。小方、玖波発展あり。税金の使い方、平均でない。
- ・ 近所で奥さんが重い認知症になった人が苦しんで、以前より人が変わったようになっていご主人を見ると気の毒です。専門の病院へ入れたいが、病院へ入ると自分の生活が成り立たないと悩んでいるのを見ると、自分もそういうことがあるかとも思い悲しい。
- ・ ひとりの老後の不安。
- ・ 大竹市は子どもを産み育てる環境でなく、人口は減少の一途である。少なくとも産科を設けるように医師会に要望すべきでは。
- ・ いい病院が少ないように思う。大竹市以外の病院を選択してしまう。
- ・ 高齢者施設の充実（年金で入居できる施設）。
- ・ 高齢になるため、福祉が充実してくれると良い。
- ・ 若い家族が永住してくれないと過疎化が進む一方。若い方が魅力を感じるまちになる必要があると思うの
- ・ ひとりになっても最後まで安心して暮らしていきたい。安心・安全に暮らせる保障の充実。健康・福祉分野の十分な予算の確保を図る。
- ・ 病院が選べない。耳鼻科が特に1件しかなく、何かあったときに行くところが他市町村までいかないといけない。火急に市として対応をしてほしい。

- ・年をとりたくないですが、人間どうしても若いときもあれば年を取れば健康が一番心配です。体が病気がつたり体が不自由になったりしたら災害のときも心配です。老後働けなくなったら、年金のことも心配です。国民年金もいただけるのに制限があるため、年をとったら働けなくなるので、生活保護をゆくゆくはいただいて生活するようになるので、病気も抱え、身体も痛めています。生きるために1日1日精いっぱい生きております。
- ・もう少し美しい大竹のまちで生きたいから。
- ・高齢者や障害者が買い物・病院に行くとき、こいこいバスが無料になれば、活動回数、範囲も広がり、人ともつながる機会も増え、自分らしく自立した生活が送れる。
- ・リハビリする病院がない（入院できる）。
- ・一人暮らしの人の家を時々訪問して下さい。
- ・高齢者になると健康等が一番不安で適度の運動で自分自身を守っていききたい
- ・出産もできないし、救急も遠くまで行かないといけな。入院設備も整っていない。安心して暮らせる設備を整えてほしいです（高齢になると遠くまで行くのは大変です。）。
- ・病院が少なくなっている。
- ・高齢者として元気で楽しく過ごす。
- ・市民の健康にも少し関心してほしい。
- ・出産できる産院がなく、妊娠後期は不安に思うことが多かった。大竹市が取組める問題？ではないかもしれませんが
- ・まず、住環境の安全が低い。
- ・市民体育館の利用料金引き下げ及び設備の充実化、プール施工。
- ・自身の年齢を考えたら、将来の不安が、いつも頭の片隅にあります。現在は、仕事をしていますが、これから先、仕事が出来なくなり、収入が無くなったときを思うだけで、不安になります。
- ・子供が緊急時に行ける病院が無い。大竹の子は舟入市民しか受け入れがなく、遠すぎて搬送される間に更に状態が悪化する。
- ・結局健康でなければ何も出来ない。そのために自治体が率先して住民の健康管理に力を入れて欲しい。
- ・西医療はあるが、個人の病院が高齢化により閉鎖しているの、選べない。
- ・市内に出産出来る病院がないこと、小児の夜間救急がないことに不便を感じる。
- ・高齢化率が高いと思うから。
- ・市民の子供医療費を減らしてほしい。
- ・無料健康診断活動
- ・出産を大竹で出来るようにして頂きたい。
- ・人口の高齢化に伴い移動に困っている方が多くいます。市内一円の病院を巡回する無人バス等検討してください。

「F 自治・行政運営」分野

- ・「各地区の自治会集会所が古い、汚い、暗い。」話動の場所に大人も子どもも集まりたくなる快適な環境の集会所にしよう。施設に力を入れていない。市の土地ばかり金を投入しているように見える。
- ・晴海、小方中心のまちづくりは理解しているが、旧市街の環境整備はほとんどない。
- ・隣組のような密な人間関係が保たれるような組織を作らないと、人口減少は必然なため孤独化・孤立化し社会から疎外されてしまう。
- ・集合住宅に住むものですが、高齢者が多く運営に参加が難しい人が多くなりつつある。金銭で依頼できることはそうするようなシステムにしてほしい。
- ・昔の行事等で個人の自由がない場合がある。
- ・住んでいるところが高齢化し、いろいろな行事をすることが困難になりそうです。
- ・自治会の役員を20年以上しているが、高齢化と後継者不在で悩んでいる。対策は現在考え中である。
- ・一人暮らしの人の家を時々訪問して下さい。
- ・つまらん自治体。市民に負担をかけすぎ。市議と公務員の天国みたい。
- ・道路（小路地）の整備。
- ・行政の支援が不足していると思います。

その他

- ・ 晴海公園はとてもよい公園なのにもったいないと思う。道の駅などを同じ場所に作るともっとたくさんの方が来ると思う。今は公園に来てただけでお金を落とす場所がないので使っていない。玖波漁港の月に一回の朝市ももったいない。場所が入りづらくて分かりづらい。わかっているけど行く気にならない、道が狭すぎて。晴海と一緒にあると盛り上がると思う。若い人がたくさん来て魅力を感じて住みたいと思わないと大竹はどんどん人口が減っていくと思う。ぜひ盛り上げてもらいたい。
- ・ 3年くらい前ですが、社宅から隣の市や町に家を持つ人が多くいました。住みよいこのまちから移っていく。人口減少を考えるともったいない。もったいない。
- ・ 今までで満足しています。
- ・ 特に思いつかない。
- ・ 1つを選ぶのは困難です。すべてに力を入れてほしいです。
- ・ 一つだけというのは本当に難しい！！ただ平均（普通）であれば良いのではないかと思います。別にその分野に力を注がなくても…！！それが一番住みやすいまちと感じます。普通でよいです。
- ・ 防災無線の放送が聞き取りにくい。
- ・ 買い物できる場所が無いため大きめのショッピングモールが欲しい、大竹市のホームページが見にくい
- ・ 【A,B,C分野】 産業・雇用の改善の前に、やはりテナントや飲食店の充実を図らないと若者の定着や販売単価が近隣のSCやSMへ流れていきます。ただ単に安価な鮮度の商品を取りあつかっている店だけでなく、本当に若者や若年層の集客を増やさないと若者やその家族は近隣のSCやDSへ流れていきます。まずアンケートでももっと若い方へ意見を聞く必要があります。中間層は無視したほうが環境が変わります。
- ・ 【A,C分野】 教育こそが社会の基盤だと思うから。
- ・ 【A,E分野】 同じ市内の学校でも、学校行事や部活動に差がある。
- ・ 【B,E,F分野】 人が集まるまちづくり。住みやすいまちづくり。人口が減少してきています。大竹市に住みたい。働く場所の確保が必要。地域が誇れるような、住民同士が接点のできる催し物などの計画が必要で
- ・ 【D,E,F分野】 自治会の方がやさしい。
- ・ 【C,E分野】 高齢者が多いのに受け入れる施設や病院が少ないと感じる。
- ・ 【C,D分野】 近所に高齢者が多いためと隣近所の家が近いので、バーベキューを夏・冬に関係なくしている人がいるので危険。禁止してもらいたい。

2 属性別分析

(1) 性別

分野	分野別取組宣言	問番号	設問	R4							
				男性				女性			
				設問		項目		設問		項目	
				「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位
A 教育・文化	広く社会で活躍する人を育むまちづくり	①	子どもたちが学び、成長できる環境になっていると感じますか。	56.8%	13	57.0%	5	57.8%	13	58.2%	4
	学び楽しむ心豊かなまちづくり	②	生涯学習・社会教育・文化活動など様々な学びの場が整っていると感じますか。	49.6%	18			57.2%	14		
	一人ひとりを大切に するまちづくり	③-1	あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。	47.0%	20			46.4%	20		
		③-2	あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。	78.1%	2			69.7%	6		
歴史や文化を大切に するまちづくり	④	地域の歴史や伝統文化が大切にされ、未来に引き継がれていると感じますか。	53.7%	16	60.1%	12					
B 産業・雇用	活気ある産業のまちづくり	⑤	地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	32.7%	25	32.2%	6	37.7%	23	34.1%	6
	多くの人が訪れるまちづくり	⑥	大竹に魅力を感じ、市外から多くの人が訪れていると感じますか。	15.8%	26			22.5%	26		
	地域経済が元気なまちづくり	⑦	多くの人が市内で買い物をし、地域経済が活性化していると感じますか。	41.2%	23			36.5%	24		
	安心して働けるまちづくり	⑧	ひとりひとりのライフスタイルに応じた働きやすい環境があると感じますか。	39.6%	24			39.9%	22		
C 生活・環境	快適で暮らしやすいまちづくり	⑨-1	生活に必要なインフラ（上下水道、鉄道、バス、道路など）が整い、快適な生活環境になっていると感じますか。	57.5%	12	60.3%	3	57.0%	15	60.7%	3
		⑨-2	目的地までの移動がしやすいまちだと感じますか。	48.8%	19			44.8%	21		
	自然と調和するまちづくり	⑩-1	豊かな自然が守られ、景観を生かしたまちづくりが進んでいると感じますか。	62.2%	11			67.3%	9		
		⑩-2	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちが良いと感じますか。	67.3%	7			71.8%	4		
	楽しさと憩いにあふれるまちづくり	⑪	公園など、様々な世代が楽しめる魅力的な場所があり、居心地が良いと感じますか。	54.9%	14			55.0%	16		
	環境にやさしいまちづくり	⑫	ごみの減量化やリサイクルなど、「循環型社会」への取り組みがされていると感じますか。	71.4%	5			68.8%	8		
D 安全・安心	災害に強いまちづくり	⑬-1	防災情報の伝達手段（防災行政無線、防災メール、テレホンサービス、緊急速報メール、ホームページなど）は充実していると感じますか。	65.0%	8	65.9%	1	69.5%	7	67.4%	1
		⑬-2	あなたの家庭では災害を意識した準備をしていますか。	54.8%	15			54.6%	17		
	事故や犯罪の少ないまちづくり	⑭	地域住民や警察・行政などが協力し、事故や犯罪予防のための取り組みがされていると感じますか。	69.3%	6			74.2%	3		
	命を大切に するまちづくり	⑮	消防・救急体制が充実し、命と暮らしを守るための市民の意識づくりが進んでいると感じますか。	74.3%	4			71.0%	5		
E 健康・福祉	子どもが健やかに育つまちづくり	⑯	大竹市で安心して子どもを子育てされると感じますか。	64.5%	9	62.8%	2	65.4%	10	64.5%	2
	誰もが自分らしく生きるまちづくり	⑰	高齢の方や障害のある方などが自分らしく自立した生活をおくれる環境にあると感じますか。	50.4%	17			50.9%	19		
	見守り 支え合うまちづくり	⑱	住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。	46.5%	21			53.3%	18		
	みんないきいき元 気なまちづくり	⑲-1	保健・医療体制が充実し、市民の健康づくりが進んでいると感じますか。	62.4%	10			61.0%	11		
		⑲-2	あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。	89.9%	1			91.1%	1		
F 行政 自治 運 営	地域を愛する人づくり	⑳	あなたは、まちや自分の住んでいる地域への愛着や誇りを持っていますか。	77.7%	3	59.8%	4	76.9%	2	53.9%	5
	市民と行政の協働	㉑-1	あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。	41.4%	22			30.0%	25		
合計				56.6%				57.3%			

R3								R4-R3							
男性				女性				男性				女性			
設問		項目		設問		項目		設問		項目		設問		項目	
「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位
61.7%	8	63.9%	2	67.0%	9	66.5%	2	▲ 10.2%	24	▲ 6.8%	▲ 3	▲ 9.2%	24	▲ 8.3%	▲ 2
59.9%	11			64.0%	14			▲ 14.4%	26			▲ 6.8%	21		
56.3%	15			57.0%	17			▲ 9.9%	23			▲ 10.6%	25		
82.2%	2			80.8%	2			▲ 2.8%	15			▲ 11.2%	26		
59.1%	14			64.0%	13			▲ 10.3%	25			▲ 3.9%	17		
26.5%	25	27.2%	6	34.2%	23	31.1%	6	▲ 1.5%	12	5.0%	0	3.5%	5	3.0%	0
12.9%	26			12.8%	26			3.0%	4			9.7%	1		
30.2%	24			32.5%	24			8.7%	2			4.0%	2		
39.4%	22			45.2%	22			▲ 5.6%	21			▲ 5.3%	19		
59.1%	13	57.4%	4	57.1%	16	62.0%	4	0.4%	6	2.9%	1	▲ 0.1%	11	▲ 1.3%	1
46.1%	21			46.1%	21			2.8%	5			▲ 1.3%	15		
60.4%	9			65.0%	11			▲ 2.7%	14			2.3%	6		
59.4%	12			68.2%	8			▲ 0.8%	10			3.6%	3		
51.2%	18			59.0%	15			▲ 4.1%	17			▲ 4.0%	18		
68.2%	6			76.7%	5			▲ 5.3%	20			▲ 7.9%	23		
66.0%	7	67.6%	1	69.5%	7	67.7%	1	▲ 4.5%	19	▲ 1.7%	0	▲ 0.0%	10	▲ 0.3%	0
52.0%	17			51.0%	20			3.9%	3			3.6%	4		
76.9%	3			72.0%	6			▲ 2.7%	13			2.2%	7		
75.0%	5			78.3%	3			▲ 4.0%	16			▲ 7.4%	22		
60.3%	10	59.1%	3	64.6%	12	65.8%	3	▲ 0.1%	8	3.7%	1	0.9%	9	▲ 1.3%	1
47.8%	19			51.8%	19			▲ 1.4%	11			▲ 0.9%	13		
47.3%	20			55.3%	18			▲ 8.8%	22			▲ 2.0%	16		
53.3%	16			66.6%	10			▲ 4.2%	18			▲ 5.6%	20		
86.4%	1			89.8%	1			0.1%	7			1.2%	8		
75.2%	4	55.6%	5	78.0%	4	54.3%	5	▲ 0.3%	9	4.2%	1	▲ 1.1%	14	▲ 0.4%	0
35.9%	23			30.1%	25			11.3%	1			▲ 0.1%	12		
55.7%				59.1%				▲ 2.4%				▲ 1.7%			

【全体的な傾向】

各分野の各設問で「はい」と答えた人の割合の単純平均値により、全体的な傾向を捉えたものです。

「はい」と答えた人の割合は、「男性」56.6%、「女性」57.3%と、「女性」が「男性」よりやや高くなっています。分野別にみても、6分野中すべての分野で「女性」のほうが「はい」と答えた人の割合が高くなっています。

男女差が5%以上のもの

男女差が5%以上のものは次の8つの設問でした。

設問番号⑫-1「あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。」と⑱「住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。」と⑤「地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。」は昨年度も該当した設問です。

(単位：%)

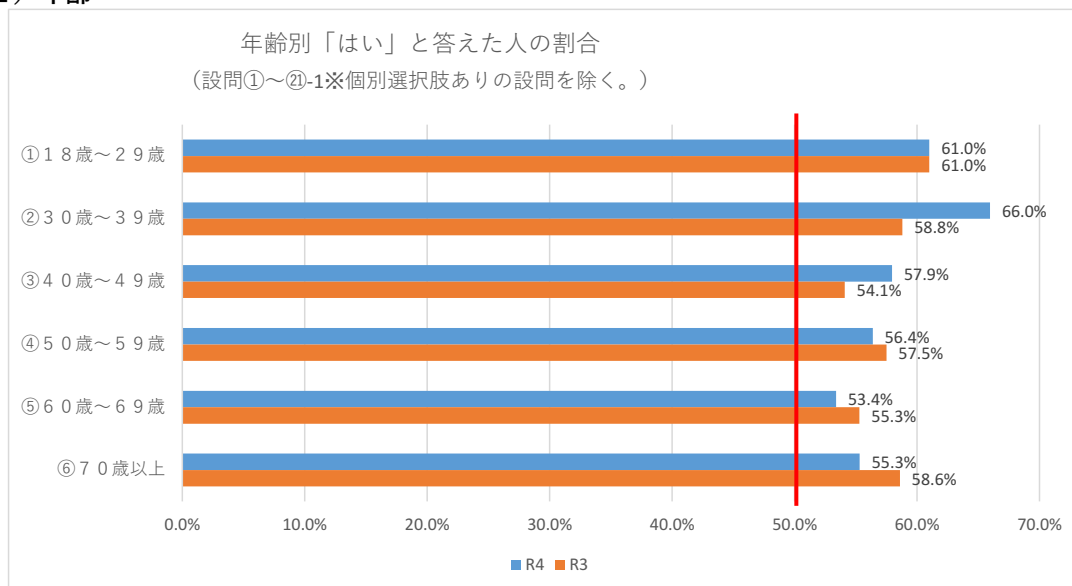
分野	設問番号	設問	男性	女性	差
			「はい」の割合	「はい」の割合	
F 自治・行政運営	⑫-1	あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。	41.4	30.0	11.4
A 教育・文化	③-2	あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。	78.1	69.7	8.4
A 教育・文化	②	生涯学習・社会教育・文化活動など様々な学びの場が整っていると感じますか。	49.6	57.2	7.6
E 健康・福祉	⑱	住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。	46.5	53.3	6.8
B 産業・雇用	⑤	大竹に魅力を感じ、市外から多くの人が訪れていると感じますか。	15.8	22.5	6.7
A 教育・文化	④	地域の歴史や伝統文化が大切にされ、未来に引き継がれていると感じますか。	53.7	60.1	6.4
C 生活・環境	⑩-1	豊かな自然が守られ、景観を生かしたまちづくりが進んでいると感じますか。	62.2	67.3	5.1
B 産業・雇用	⑤	地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	32.7	37.7	5.0

【項目・設問にみられる傾向】

「はい」と答えた人の割合の分野別の順位は「男性」「女性」の1位から3位までと6位は同じでした。最上位の分野と最下位の分野の差は、「男性」が33.7ポイント、「女性」が36.0ポイントと、共に30ポイント以上の差が生じています。

設問ごとの男女差で差が大きかったものは「F 自治・行政運営」分野で、「⑫-1あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。」設問で11.4ポイントの差で、男性のほうが「はい」の割合が高くなっています。また、「A 教育・文化」分野の「③-2あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。」の設問でも、7.6ポイントの差で男性のほうが「はい」の割合が高くなっています。地域における「女性」の役割や、活躍できる場や機会など、女性を取り巻く環境にさまざまな課題があると考えられます。

(2) 年齢



【全体的な傾向】

どの年齢層においても、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。
 年齢層別の「はい」と答えた人の割合は、「30～39歳」が66.0%で最も高く、次いで「18～29歳」、
 「40～49歳」の順に高くなっており、「60～69歳」が最も低くなっています。

年齢別「はい」と答えた人の割合

年齢	A 教育・文化		B 産業・雇用		C 生活・環境		D 安全・安心		E 健康・福祉		F 自治・行政運営	
	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位
①18～29歳	69.5%	2	41.7%	1	70.6%	2	61.9%	6	66.7%	2	32.5%	6
②30～39歳	72.8%	1	38.8%	2	77.3%	1	66.3%	3	68.9%	1	61.0%	2
③40～49歳	60.7%	4	38.5%	3	61.7%	3	68.9%	1	55.9%	6	62.1%	1
④50～59歳	62.6%	3	34.3%	4	59.2%	4	65.8%	4	58.4%	5	52.2%	5
⑤60～69歳	52.4%	5	31.7%	5	55.5%	6	64.1%	5	61.0%	4	53.2%	4
⑥70歳以上	52.3%	6	30.1%	6	57.6%	5	66.9%	2	65.5%	3	59.1%	3

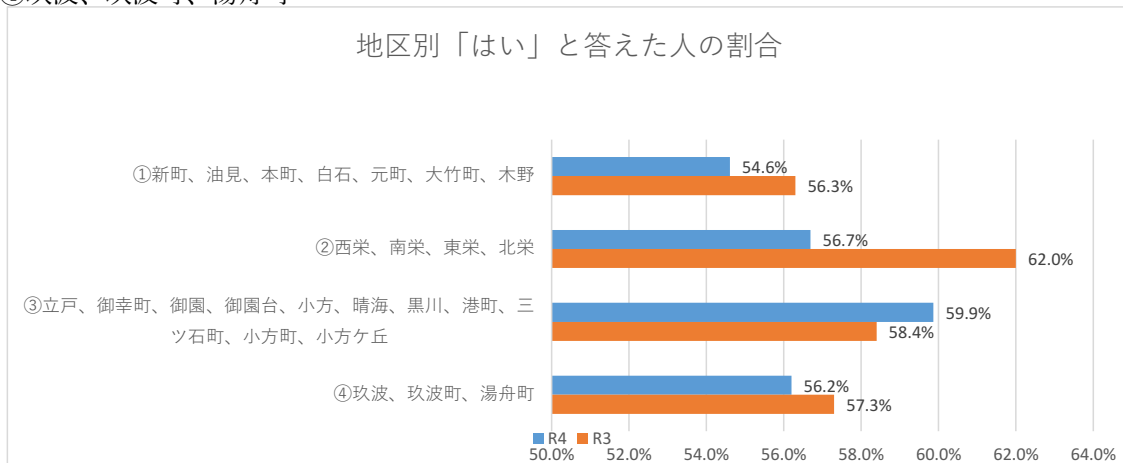
【項目・設問に見られる傾向】

分野別では、「30～39歳」は6分野中3分野で「はい」と答えた人の割合が最上位となっています。
 「B 産業・雇用」分野は、「はい」と答えた人の割合が若年層ほど高くなっています。就労年齢での
 「はい」の割合が高いということは、働く場所が多いという本市の状況を表していると言えそうです。
 「はい」の割合が高い年齢層として「30～39歳」、「18～29歳」、「40～49歳」、低い年齢層として
 「50～59歳」、「60～69歳」、「70歳以上」となっています。

(3) 住所

回答数100以上の次の4つの地域で比較しています。

- ①新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野
- ②西栄、南栄、東栄、北栄
- ③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘
- ④玖波、玖波町、湯舟町



【全体的な傾向】

いずれの地区も、「はい」と答えた人の割合が50%を超えています。
 最も割合が高かったのは「③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、
 小方町、小方ヶ丘」で、最下位の「①新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野」と比較して、
 5.3ポイントの差が生じています。
 昨年度と比較して4地区中3地区で値が下がっています。特に「西栄、南栄、東栄、北栄」の減り幅が
 顕著で5.3ポイント下がっています。

地区別・分野別「はい」の割合

(単位：%)

地区	A 教育・文化		B 産業・雇用		C 生活・環境		D 安全・安心		E 健康・福祉		F 自治・行政運営	
	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位	「はい」の割合	順位
①新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	57.2%	3	26.6%	4	59.9%	2	63.3%	4	62.0%	2	53.0%	4
②西栄、南栄、東栄、北栄	60.1%	1	36.5%	2	59.4%	3	64.3%	3	61.2%	3	54.5%	3
③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	56.5%	4	40.5%	1	63.5%	1	69.2%	2	67.6%	1	58.2%	2
④玖波、玖波町、湯舟町	58.8%	2	30.5%	3	59.0%	4	69.8%	1	59.1%	4	59.1%	1

【項目・設問に見られる傾向】

地区別で「はい」と答えた人の割合は、「③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘」が6分野中3分野で最上位となっています。

地区によって最も差が大きかったのは「B産業・雇用」分野で、最も高い「③立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海、黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘」と最も低い「①新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野」で13.9ポイントの差が生じています。

第3節 自由筆記 「大竹市のイチオシ」・「最近「幸せだな」と感じたこと」・その他 ご意見など

1 大竹市のイチオシ

「大竹市でのあなたのイチオシについて教えてください。好きな「ひと」・「もの」・「こと」・「とき」・「ところ」など、何でも構いません。ひとつだけお書きください。」という設問について、自由筆記していただきました。アンケートの全回答数528件のうち、338件の自由筆記回答がありました。

具体的な場所（観光名所、公園、施設等）やイベントを挙げているものや、海や山などの自然・景色、生活環境（買い物・交通・子育て等）、人とのつながりや地域性といった人によって感じ方の違う抽象的なものを挙げているものもありました。

「大竹市にイチオシはないので、もっと〇〇してほしい」といった行政への意見なども見られました。複数内容を含むものはその他の分類とし、意見等が付記してある記述を中心に掲載しています。個人が特定されるものは掲載していません。

1 観光名所、公園、施設等

このカテゴリーに属する回答は全部で119件回答がありました。そのうち晴海エリアの回答が、49件と最も多く、内訳は「晴海臨海公園」21件。次に多かったものが下瀬美術館の17件、晴海エリア内施設を複数含む回答も11件見られ、このカテゴリーのうち約41.2%が晴海エリア及び晴海エリア内の施設等の回答という結果でした。

次に多かったのが、栗谷エリアで、19件、このカテゴリーのうち約16.0%でした。内訳は三倉岳が10件、その他が9件で、弥栄ダムや蛇喰岩、マロンの里の回答が見られました。

そのほかの回答として、「亀居城址」が14件、「コンビナート風景・工場夜景」が7件、「大竹駅」が8件、「小瀬川」が6件、「その他」が16件でした。

・ 【21件】晴海臨海公園

晴海公園がイチオシ！BBQもできアスレチックが大きく立派な公園。

晴海臨海公園、遊具や施設が充実し、子どもたちにも年配者にも楽しくやさしい。

大竹港旧海軍潜水学校跡の公園。正面に宮島、可部島、能美島、右手に阿多田島、大野瀬戸から左奥の経小屋山、笠山、忠二郎山、立戸山、それから海沿いに並ぶ工場群、ぐると360度の眺め。

大竹晴海公園…梅林もあり、公園の周りをぐるっと回って散歩することができるし、キャンプ場があり、下瀬美術館の素敵な建物が見えて素敵な場所です。

・ 【17件】下瀬美術館

文化面が貧困であったが、美術館が誘致でき、種はまかれたので、広島県西部の雄となれる文化都市を期待したい。

下瀬美術館。大竹の新名所だと思います。

下瀬美術館のエミール・ガレの庭。

最近できた下瀬美術館。庭や遊歩道がいい。

・ 【11件】晴海エリア内施設等を複数含むもの。

晴海にできた下瀬美術館あたり

晴海にいろいろな施設があるのはいいと思う。

晴海公園周辺

晴海にあるいろんな施設は子どもがいない世代にはとてもよい！

ゆめタウン大竹周辺の充実感

晴海公園や下瀬美術館。

- ・ **【10件】三倉岳**
 三倉岳（西日本有数のロッククライミングの山）
 三倉岳。四季それぞれに美しい。
- ・ **【9件】栗谷エリア及び市街地から栗谷へ行く道中にある施設等を複数含むもの。**
 川遊び、蛇喰
 弥栄、栗谷辺りへのドライブ。
 弥栄ダムの景観はすばらしい。
 三倉岳。マロンの里。
 四季折々の弥栄ダム など
- ・ **【14件】亀居城址**
 亀居城あと。せっかく戦国時代に城のあった所だから、もっとPRして知ってもらいたい。
 亀居城跡は気分転換に良い。
 亀居城からの景色（美しい瀬戸の眺め）
 亀居城の危険な坂の改善。
 お城山。もう少し大切にしてください。本当に素敵なお城山だと思います。
 亀居城跡地が和木町蜂ヶ峰公園のような施設の多い遊べる環境（1年中）になるよう希望しています。
- ・ **【7件】コンビナート風景・工場夜景**
 工場群の夜景ツアーをしたらいいと思う。
 大竹コンビナートの風景。丘の上から見る夜景は素晴らしいと思います。
- ・ **【8件】大竹駅**
 JR大竹駅全体が新しく立派になり、駅の周辺が整備されるのが楽しみ。
 大竹駅（新しくなって便利になった）
 大竹駅の通路からまっすぐ線路を見る。
 新しくなった大竹駅の鯉のぼりの目玉 期間限定だったらしく、今は無いのが残念です。
- ・ **【6件】小瀬川**
 小瀬川全域。河口（潮干狩り、水鳥・野鳥の観察）、井堰、弥栄ダム、ダム湖、蛇喰、ほか。
 小瀬川沿いを歩くのが好きです。のどかなあと感じます。
- ・ **【16件】その他**
- ・ **阿多田島**
 アゼリアおおたけ
 アゼリアおおたけの駐車場を広く使用できること。
 総合市民会館等
 スラムダンク（バスケットボールの漫画）の映画が上映されて再ブームが来ています。大竹市総合体育館は、この漫画の県大会の場所になったところです。体育館の前にスラムダンクの看板を立ててください。
 大河原山
 大河山を整備し、若い人、子ども達が自然に触れ合える場所づくり。
 （5件）その他
 大竹小学校のプールの建設中で完成が楽しみ。
 安条トンネル入口の広場。前に小瀬川の川幅が広く絶景。小休憩所を作ったら、隠れた名所になるかも。
 錦龍の滝（ただし、駐車場の整備、道の整備を要する）
 JR玖波駅。上り下り両方に改札口があり、出入りできる。陸橋の階段を使わなくても良いので楽です。
 ダムのできる前の弥栄峡（今は大変懐かしいです。）あのきれいな水、夏にはよく泳ぎに行ったものです。
 ただいろいろな意味でダムは必要だったのでしょうか。ダムの水の下にあるのは残念です。
 （3件）複数の要素を含むもの
 三倉岳と小瀬川
 阿多田島や、三倉岳の自然、亀居城の歴史。

大竹駅に東口ができたこと、美術館ができたこと。

2 生活環境・利便性（買い物、交通、立地など）

このカテゴリーに属する回答は全部で57件でした。

そのうち食料品・日用品を買える店が多いことを挙げた回答（特定の店舗の回答を含む。）が26件、このカテゴリー内で約45.6%を占めます。

理由は様々ですが、自然や住環境、生活インフラが整うなどして「暮らしやすい」という回答が6件で、このカテゴリーのうち約10.5%を占めています。

その他の回答としては、市の立地の特性に関する回答が7件、交通に関する回答が4件、医療・子育てに関する回答が4件、その他の回答が10件でした。

- ・ 【26件】 買い物のしやすさや特定の店舗を回答したものの生活環境が良い所。店が多くあること。
（値段の安い）大型スーパーがたくさん増えてきたこと。
生活必需品が近場で買えること。
自宅近くにいろいろなお店があり、助かります。
近くにコンビニ、商店が多くあって買い物に困らない。
魅力ある店舗が多いと思う。
お店が多い所、助かってます。
パン屋さんが安くて美味しいお店が近所にあり、地域生活の食の魅力を感じる住み良いまちづくりを今後も期待します。
買い物がしやすい。
仕事の関係で県外から引っ越してきたのですが、とにかくお店が揃っているので生活しやすいです。
- ・ 【6件】 「暮らしやすい」という回答
私のイチオシは「ところ」です。大竹市という市は市にしては小さな市だと思いますが、私が住んでいる「御園」はとてもいい場所だと思います。高速に乗るのも近く、コンビニも近く、大型スーパーもほど近く、海にもほど近く、2号線からはそんなにうるさくない場所で山の緑にも囲まれて、気づくともう大竹市民になって50年過ぎました。
一行政区域としてコンパクトに集約されたまち。
生活環境が整っていること。
大竹のまち、生活しやすいまちだと思います。
イチオシはないが、住み良い。
コンパクトなまちで動きやすい。
- ・ 【7件】 立地に関する回答
山口県が近いので、山口のことも知ることができる。
大竹市は広島県と山口県の中心であり、両県が合併したら地方都（？）になる。
東に廿日市、西に岩国、程よい距離。
広島県の最西端の位置にあること。
地理的に好き（広島～岩国間の異動が楽）。
宮島が近い
宮島、錦帯橋に近い。
- ・ 【4件】 交通に関する回答
広島市内に出るときJRの本数が多い。岩国方面が少ないのでその点便利。
こいこいバスはとても感謝です。

多少の不便はあるものの市内をこいこいバスはありがたいと思う。

市内が平坦なところ、移動しやすい。

・ 【4件】医療・子育てに関する回答

西医療センター

病院が多いこと。

子どもにとって住みやすいまちになってきている

放課後子ども教室や夏休みの小学生向けの講座など安価で学べる環境があるところ。

・ 【10件】その他の回答

静かさ

買い物もでき、友人と話し合いの場所があること。

適当に田舎なところ。

そこそこ田舎な所。

多くを望まなければ生活しやすい。岩国錦帯橋空港、観光地に近い。

静かで住みやすく、新幹線、飛行機などの交通機関へアクセスしやすく、廿日市や広島市内への距離が近くて良い。

店が近くて住み易く、広島市内にもJRで行ける。

雑踏が少なく落ち着いて暮らせるまち

住民、子供のことを考えた対策がなされている。

公園等は充実している。

3 自然、海、山、景色

このカテゴリーに属する回答は全部で35件でした。

そのうち自然が多い・近いや海や山に囲まれているといった回答が27件、このカテゴリー内で約77.1%を占めます。

「海」、「山」、「川」を単独で回答したものが7件、このカテゴリーのうち約20.0%を占めています。

その他の回答が1件でした。

・ 【27件】交通に関する回答

山川海が揃ってる。

自然に囲まれた閑静なまち。

山海が心地よい。

自然が近く、子育てに向いていると思う。

自然豊か。でも不便？

海と山の両方に囲まれ自然豊かな所⇒大切にしていってほしい。防災のため護岸工事などで川に住む貴重な生き物が減少していることが残念である。

山と海と川がきれいなこと。

山あり、海あり、自然な景色がある小さな市である大竹。小鳥の鳴き声が聞こえたときは癒されます。

海も近く釣場も多い。山もあり、自然豊かなところ。山、川、海。

自然が豊か←活かされていない。

山あり、海ありで良いです。

海と山に囲まれている。

大竹市内の自然資源（阿多田島、栗谷地区）。海があり、川があり、山があり、四季を通じて楽しめる自然の資源があるところ。

自然が豊かなこと

大竹は山、海が近くにあり、自然との共存。

海と山がすぐ近くにあり、落ち着いた子供からお年寄りまで過ごしやすい環境だと思う
海、山、川があって自然を満喫できるところ。
一つのまちに海から山までいろんな景色があること。

- ・ 【7件】 海、山、川

瀬戸内海の景色

玖波に住んでいるのですが、海に宮島が見えるところ。

山へ行けば行くほど素敵な自然があること。

山手に住んでいるので空気は他の地域に比べてきれいでフレッシュな感じをいただいている。

栗谷町の自然風景、豊かな自然をこのまま残してほしい。

川がきれいなこと。

今の季節の早朝 宮島の朝焼け

- ・ 【1件】 その他

まち並み

4 人とのつながり・地域性

このカテゴリーに属する回答は全部で29件でした。

そのうち近所の人や人とのかかわりなどを回答したものが21件で、このカテゴリー内で約72.4%を占めます。

特定の人を回答したものが7件、このカテゴリーのうち約24.1%を占めています。

その他の回答が1件でした。

- ・ 【27件】 近所の人や人とのかかわり

ちょうどよい小さいまちのおかげで知人の知人が多い。

近所で昔からいる人は古い付き合いなので、安心できる。いろいろな意味で。

やさしい住民

地域のつながりがあり、「ひと」が温かい。

友人がたくさんいる（お茶友人）。

「花いっぱい運動」に参加してグループで活動している。ぜひ継続してほしい。

ひと。人と人のつながり、温かさ。

地域住民に思いやりがあるから。

地域の人々の関わり。

ひと。互助精神がある。

人。人が優しく人間味（人情味）がある。結婚して初めて来た私をやさしく受け入れてくれてとてもうれしかった。

「ひと」。大竹に住む「ひと」たちは割とおとなしい方だと思うけど、あまり悪を行う人は聞かないし、話せばいい人が住んでいると思います。

人がみんな優しくてこのまちが大好きです。

方言や郷土料理で人のぬくもりを感じられるまち

- ・ 【7件】 特定の人

民生委員の人

障害者の私は、医療機関のかたがたに感謝し、大変な仕事をしてくれるところです。

母。認知症で大変ですが、母がいるから大竹に帰って来て、看ています。

ケアマネさん、ヘルパーさん、デイサービスのスタッフさんが1チームのように連携して支えてくださっているのは本当にありがたく思っています。

人の話でも一生懸命聞いて、傾聴してくれる人。

生涯学習グループ→ダンスサークルABEAT

大竹中学校の生徒たち（校内を一人一人が黙々と掃除している姿）。校内がとてもきれいです。

- ・ 【1件】 その他の回答
のんびりと穏やかな地域性

5 その他（祭り・イベント、歴史・文化、産業、安心・安全など）

このカテゴリーに属する回答は全部で98件でした。

祭りやイベントに関する回答が17件で、このカテゴリー内で約17.3%を占めます。

歴史・文化に関する回答が8件で、このカテゴリー内で約8.1%を占めます。

安心・安全に関する回答が4件で、このカテゴリー内で約4.1%を占めます。

産業に関する回答が3件で、このカテゴリー内で約3.1%を占めます。

そのほかの回答として、1～5までのカテゴリーの複数の要素を含む回答が8件、食べ物に関する回答が7件、その他の回答が51件でした。

- ・ 【17件】 祭りやイベント

祭り

秋のお祭り

大竹祭

コロナで何年かは行われなかったが、大竹祭(だし)

玖波・大竹・小方祭の奴行列が継承されていること

秋、大竹祭の山車、イチオシです

大竹祭。特に42歳の男女の参加。

大竹駅伝継続（復活？）を！

こいこいフェスティバル（フリーマーケットをやってほしい）

厳神社参り

カキ祭り

- ・ 【8件】 歴史・文化

石本さんの詩（大竹音頭ほか）、雛流し行事、鯉のまち大竹（和紙のこいのぼり作り。市内の小川にたくさん大きな鯉が泳いでいます。小川の整備要。）

大竹音頭

長岡省吾

大竹市の誇りは「石本美由紀」

人は作詞家石本美由紀を出してほしかった。もう遅い。

和紙作り。地場産業にできないかと思う。

地元の歴史、伝統文化、地域行事を守り続けている。

世代を越えてつながっている伝統。今年は運動会で子どもが大竹音頭を披露。自分の子どもの頃と重なり、懐かしく嬉しい気持ちになりました。

- ・ 【4件】 安心・安全

大きな事件や事故がなく平穏に暮らせる。穏やかに暮らせるところ。

休日診療所があること。安心して暮らせます。家の近くにポスト（郵便）があると助かると思います。

自然災害が起きにくい地域と感じてる。

治安が良い。

・ 【3件】 産業

産業を中心としたまちづくり。

企業のまちであること。

大手化学会社

・ 【8件】 1～5までのカテゴリーの複数の要素を含む回答

新しい家が建ち並び時代が変わりつつあるけど、昔の付き合いは懐かしく、大竹弁が通じる。祭。

交通の便利。海山が近く、自然が身近。雇用の企業もほどほどにあり、職業が選ぶことができる。

自然に囲まれていて落ち着く。亀居城の桜はお気に入りです。

大竹市役所での地味なやさしさ。西医療センターの存在。①大竹高校の野球部…練習の姿に元気をもらえる。

三倉岳。おいしい水。

旧山陽道の姿が残っているまちであること。重要産業の事業所が設置されている立地条件が備わっているまちであること。

市民スポーツ広場を利用させてもらっています。先日排水工事してくださりありがとうございました。少しずつ気の向かないまちが良くなって行っています。ありがとうございます。油見松本牧場から顕徳寺に行く途中、川のへりの三角地の補装工事もありありがとうございました。

好きなどころは災害や事件が少ない。また、昔に比べて自然環境が少しは良くなってきたと思う。

・ 【7件】 食べ物に関する回答

弥栄まんじゅう

中川製麺のきくいもかりんとう。

栗谷産の米が美味しいと言ってもらえる。

海山の幸。

・ 【51件】 その他回答

水道（上水、下水）

水が美味しいこと。

コイちゃんクーポン

100歳体操

無料体操教室

新町

人口が少ないのであまりけんかとかしません。

インフラ

人、場所、居住地のことを分かりやすく教えてくれた。

趣味で写真を勉強しています。健康でまだ続けられてるように祈っています。

生活は安定できますように。

夕方の歌の放送。お知らせでもゆっくり良く聞き取れるようお願いします。

ポートルース施行自治体。

学校・教育環境

書道

時報を知らせる音楽

若い市議会議員が多くなったこと。また、今回の選挙も期待している。

以前は夏期の夜にホテルを見かけていましたが、市内で見かける区域を探しています。和木町では蛍のいる小川という看板表示を見ました。

市営住宅入居に至るまでの一つ一つの段階で、良いお世話をして頂き感謝しています。

政治や議会が活発じゃないのでおとなしいこと。

仕事

無駄に長生きさせない

イチオシとなると「雇用」かと。

広島ベッドタウン

可もなく不可もなく

反いちおし。大竹駅の上りが手間もかかりエレベーター代もかかり不便になった。下りは便利になった（エレベーターがついたから）。

市議会議員さんの活動が見えない。なにも役に立ってない。市議会議員さんはいらない！

好きなものはない。

ありません。イチオシされるような場を作ってくださいね。

南栄はお店が遠いからぐるりんタクシーを毎日してほしいです。

人：無駄に年寄りが多いが、もっと意見交換できるスペースを作らないとダメ。公民館では若者は来ない。

もの：ダイセル会社を含め優秀は会社のCMを企業体と一っしょに大竹を売り込む。ところ：やっぱり鳴川の浜辺の改革、廿日市と協力して海辺を整備する必要。

交通が不便です。

市外では特徴がないとよく言われるのは、よそから見ると「遠い場所」ととらえられているようで、印象にも残るようなひと・もの・こと等が必要になっている。

年寄りが住みやすいようなまちを作ってください。

天下りの多いまち

海の美化（海水浴ができる砂浜）

釣りで中国や台湾から大竹に来てくれる！

悲しいですが、思い当たりません。住めば都というだけかな。

2 最近「幸せだな」と感じたこと

「あなたはどのようなときに幸せを感じますか。最近「幸せだな」と感じたことについて教えてください。」という設問について、自由筆記していただきました。アンケートの全回答数528件のうち、370件の自由筆記回答がありました。

「家族（夫婦・子ども・孫など）」「友人」「地域の人々」などとのつながりやふれあい、自分や家族など大切な人が健康であること、趣味や食事などの好きなことをしている時などのほか、何事もなく平穏に暮らしていることを挙げているものも多く見られました。また、コロナが収束し、元の生活に戻りつつあることについての記載も見られました。

「幸せではない」という趣旨の回答では、収入面や健康面のほか、まちづくりに触れたものや、行政への意見・希望なども見られました。

幸せの形は一人一人異なるものです。大竹市まちづくり基本構想で掲げる「未来のまちの幸せ」は、そうした多様な幸せが集まった形と考えています。

アンケートを通じて得られたまちづくりへの課題と向き合いながら、一つずつ着実に「笑顔・元気♡かがやくおたけ」を実現させていくために、さまざまな施策に取り組んでいきます。

最近「幸せだな」と感じたこと

- ・ 家族と過ごしているとき。
- ・ 家族が元気で1日1日が過ぎること。
- ・ 家族と一緒にご飯をみんなで食べたとき。
- ・ 家族との時間
- ・ 家族が健康に過ごしていること。
- ・ 毎日、家族と食べる夕食時に幸せを感じます。

- ・ 家族が健康で笑顔でいられること
- ・ 家族との団らん。
- ・ 家族で食事に行ったこと。
- ・ 近くに住む孫たちが突然訪ねて来て、笑顔を振りまいて帰っていくとき。
- ・ 家族との過ごす日常。
- ・ 家族関係で何の問題もなく生活できていること。
- ・ 家族が揃って活動（食事・遊び等）するとき。
- ・ 猫と遊ぶ、家族で笑う。
- ・ 子ども、孫、曾孫みんなが一同に集まり、明るく楽しく元気に、話しているときに楽しくてうれしく思いました
- ・ 年老いた夫婦ですので、一緒にいるだけで幸せを感じています。最近はスポーツ番組をよく見、話がはずむことです。
- ・ 妻と息子の笑顔を見るとき。
- ・ 新しく家族が増え、日々成長していく姿を見ること。
- ・ 家族三世代での食事時間。
- ・ 娘夫婦と孫が近くに住んでいるので毎日会えること。
- ・ 家族、孫と過ごしているとき。
- ・ 家族で犬の散歩中です。
- ・ 家族や友人と過ごすとき
- ・ 家族で大爆笑しているとき。
- ・ 家族と旅行に行き、美味しいご飯や楽しい遊びをしたとき。
- ・ 夫婦で買い物するとき
- ・ 近くに子供があるので週2回車で買い出しに連れて行ってくれること。自転車に乗れないので助かります。
- ・ 子供たちが自分のことを気にかけてくれていることが分かったとき。
- ・ 他県に居る子ども達が帰ってくること。
- ・ 子ども家族と温泉に出かけて1日楽しく過ごしたとき。買い物にデパートに孫たちと出かけたとき。
- ・ 子どもの寝顔を見たとき。
- ・ 子どもと遊ぶとき。
- ・ 出産し、赤ちゃんに会えたこと。
- ・ 子どもが友達と楽しそうに遊ぶ姿。
- ・ 子ども達がそれぞれ家庭を持ち、孫達の成長を見るとき。
- ・ 子ども達の成長を感じることに。
- ・ 子ども、孫の成長。
- ・ 子どもが幸せなら親も幸せ。子どもが一番幸せになるまちづくりをしてください。
- ・ 子どもが結婚したこと。
- ・ 子どもがスポーツで活躍したいとき。
- ・ 子供と一緒に散歩しているとき。
- ・ 子供が出来なかったことを必死に練習して、出来るようになったときの笑顔を見たとき
- ・ 毎日子供が笑顔でいてくれること。
- ・ 子供やペットとのお出かけ
- ・ 子どもが健やかに成長していると感じるとき
- ・ 子供が優しく育ってるなど思うとき。
- ・ 孫が遊びに来たとき。
- ・ 孫の世話をしているとき。
- ・ 孫誕生
- ・ 子育て応援(孫守り)、頼られて手助けができるということは幸せ。
- ・ 遠くいる曾孫の写真を眺めているとき、また来てくれたとき。
- ・ 少子高齢化が進んでいる中、孫の誕生したとき。
- ・ 海外にいる孫とラインのビデオ電話できたこと。
- ・ 孫の子守りをしているとき。（みんなが家に集まって来てくれて一緒に話をしたり食事をしたりできるようになった。）
- ・ 市内に住む妹が高齢の私を気遣ってくれること。ほかに肉親がいないので、生きることにも限界だと思うのですが、妹の言葉「行きたくても病気で生きられない人がある、生かされることに感謝！！」と。
- ・ 母の介護中でなかなか家族に会えません。家族と当たり前会って世話をしているときに一番幸せです。母を預けたり、他の方に頼ってなりたつことで、心からその幸せな時間を味わえていない状態です。

- ・健康でいられるとき。
- ・健康で毎日過ごせていること。
- ・医療（元気に動ける）
- ・日々の生活で体の痛みがなく、一日中元気でいられたら、最高に幸せを感じるけど、なかなか毎日そうとは言え
- ・元気で歩けること。90歳。
- ・健康的にスポーツをしているとき。
- ・心筋梗塞から生還したとき、健康のありがたみを実感した。
- ・自分のことができ、家族の食事作りができ、歩ける足がある。今が幸せです。
- ・健康で毎日が充実した毎日。
- ・何事も自分で行動し、自由に動ける健康な身体であるとき。
- ・健康で一日一日を暮らせることに感謝している
- ・自分のことが自分でできること。
- ・今は元気だから幸せだと思う。
- ・大病にあい、余命が8カ月と言われたが、5年が過ぎ、元気になったこと。
- ・毎日元気で暮らせること、福祉の充実。
- ・元気で散歩ができるとき（長い時間はできないけど）。
- ・元気で自分のことが出来ていること。自分のスキルを生かして動いている。
- ・体調が悪くなって初めて大竹市が福祉関係が充実している！
- ・何事もなく、心身ともに元気に過ごせているとき
- ・散歩しているとき小中学生や中学生がこんにちはと挨拶を返してくれるとき。良い子達だと思う。
- ・同じ趣味を持つ、同じレベルの方々（もしくは高い技量を持つ人々）と共に活動できるとき。
- ・人から声を掛けられること。
- ・やはり人との付き合いが気持ちよく接したとき。
- ・地域の人との何気ない会話（コロナ以降地域活動も自粛されていたので。）
- ・仲が良い友達と会って話すとき。
- ・気が置けない人と過ごす。
- ・現在91歳ですが、よく外出して友達と話あうことが楽しいです。
- ・人との交流ができること。
- ・学校行事などコロナ前に戻りつつある。
- ・体力があまりないので外に出て道で出会った知人と会話できた日。
- ・近所の方たちと仲良く楽しんで過ごしていること。
- ・京都にいるパートナーに会えたとき。来年結婚して、大竹市民になる予定です。
- ・コロナが落ち着いて、友人と会食したとき。
- ・自宅に年齢を問わず地域の方が毎日のように来てくれること。
- ・知らない人なのになぜか気が合っておしゃべりしてしまうとき。
- ・子ども（幼児）の元気な楽しそうな声を聞いたとき。
- ・大竹中学生が礼儀正しく、やさしいので幸せな気持ちにさせてくれます。重い荷物を持っていたら、女子中学生が「持ってあげます」と声をかけてくれて助かり助かり、男子中学生は大きな声で「こんにちは」とあいさつをしてくれて、とてもうれしく幸せな気持ちになりました。
- ・友人とお茶して話をする食事。
- ・（優しさ）話を自分のことのように一生懸命聞いてくれる人。
- ・友だちと週1、2回は集会所で習いことや体操をしています。
- ・近所同士で助け合い、話し合い。
- ・信頼できる友達が少数だけいること。怒りやすい人が増えると感じる。
- ・友人と自宅で飲み会をしているとき。
- ・高齢者なのにシニアのいろいろな行事に参加できていること。
- ・好きな人と一緒に居るとき。
- ・困ったときに近所の方が声をかけてくれたことが幸せかどうかはわかりませんが、うれしかった。
- ・見知らぬ人から挨拶されたとき。
- ・若い人達が楽しそうにしているとき。
- ・みんなでワイワイできること。
- ・忘れ物をして、無事に届いたとき。
- ・近所の人々が皆やさしい。
- ・親の介護でしんどいときにあたたかい思いやりのある言葉を頂いたこと。

- ・ ひとのやさしさに触れたとき。
- ・ 高齢になって地域に貢献できていいないが、地域の方々が親切にしてくれる。
- ・ 身近な人たちがいつも良くしてくれる。
- ・ 新聞取り込みが遅かった日に、心配して訪ねて来てくださったとき。高齢者はお互い声かけあって、励ましあって若い人のお力も借りて生活していきたいと思っています！！
- ・ 今、介護施設にデイサービスに週2回お世話になっていますが、高齢になり、数々の病魔に脅かされるたび、何かと手を差し伸べてくださり、一人暮らしでも時々幸せだなと感じることがあります。
- ・ 少しでも人のお世話ができたとき。
- ・ 自分のことを気にかけてくれる人がいるとき。
- ・ 外出したときにさりげなく気遣ってくれる。
- ・ 最近、一人暮らしの同級生が骨折し、何かと不自由になりましたが、地域包括支援センター、寄り添いサポートセンターの方たちに良くしてもらっているのを見ると幸せなことだと思います。
- ・ 人に親切にした、してもらったとき。
- ・ 他人から好意的な反応をされたとき。
- ・ 友だちと食事をするとき。
- ・ 畑で作物を育て、食べるとき。
- ・ 食事中
- ・ 飲酒
- ・ 美味しいものを食べたとき。
- ・ おむすびが美味しかった。
- ・ 食後(毎回3食、食べることが幸せを感じる)。
- ・ 旅行先で美味しいものを食べてるとき。
- ・ 共働き、地域活動などで家族揃って食卓を囲めない日も多いです。家族揃って、笑いながら話してご飯を食べて、1日の終わりに子どもの寝顔をみたとき。
- ・ 市外に出て穴子や牡蠣や寿司を食べられたとき。
- ・ ゆっくりTVを見ることが出来たとき。
- ・ いつも声をかけながら元気にゲームをしています。
- ・ 競馬で当たったとき。
- ・ 好きな趣味、作業をしているとき。
- ・ 小瀬川の土手を散歩するとき。
- ・ 大好きなビールを飲んでるとき。
- ・ 仕事から早く帰宅し、ビールを飲んだとき。
- ・ 家でボーっとしているとき。
- ・ 笑顔向けられたとき(スノーマン)映像で。
- ・ 音楽を聴きながらガーデニングや畑作業をして、ほっと一息ついてコーヒーを飲んでるとき。
- ・ 自分の自由時間(休日)が人に邪魔されることなく過ぎたり、予定どおりにできるとき。
- ・ 温泉につかって、ホカホカシテ「かんぱ〜い」といえるとき。温泉宿は年8回程度あり。今月は皆生温泉泊。
- ・ ひとりの時間ができたとき。
- ・ 介護の毎日でちょっと暇で手が抜けたとき。
- ・ 時間を自分のために使えること。
- ・ スポーツ鑑賞(主として、テレビやスマホ)して、自分の好みの選手等の活躍があったときなど…日本、海外問わず。健康でいて、野菜や花の育ちを鑑賞すること…！？
- ・ 学校みんなで楽しくゲーム(笑)
- ・ 猫とあそぶこと。
- ・ 1日のすべての仕事を終えて、自分の好きな入浴剤を入れて湯に使っているときが幸せだなと感じます。
- ・ 何もしないとき。
- ・ 一人でくつろいでいるとき。
- ・ カフェでゆっくり美味しいコーヒーを飲んだとき
- ・ 花壇の植物を手入れしてきれいに花を咲かせたとき
- ・ 仕事休みで自宅で休んでいるとき
- ・ 小瀬川で散歩をするとき。
- ・ 趣味の溪流釣りや鮎釣りをしているとき。
- ・ 読書と将棋をしている時間。

- ・ 大竹市外ではあるが、週に3日ほど働けていること。
- ・ 衣食住に困らないこと。
- ・ 大きな仕事が達成したとき。
- ・ 仕事場で自分自身の存在を必要とされ、認められ、自分自身の存在を否定されるのではなく、仕事を通していないと困る一つでも多くの仕事ができる自分になりたい。そして仕事を楽しくできる自分になりたい仕事場が、明るく楽しく人間関係仕事場だけではなくいろんなところで、人間関係問題がなく、心に苦しみ悩みがなくても心が楽で、毎日が楽しく、そんなときに幸せを感じます。心が幸せを感じます。そんなときです。どこの場でも人との縁が大事です。争いがなく日常生活も何も苦がなく安心して生活したいです。
- ・ 子育てが終わり、ローンもない状況で働いた金がほぼ自分の金になること。もう少しで年金がもらえること。
- ・ 貯金が増えたとき
- ・ 働きやすい職場で働けていること。
- ・ 日本が平和なこと。地球全体が平和であることが希望。日本人、アメリカ人、その他国でなく、地球人であることが望ましい。
- ・ 平和であることを幸せに思っております。この平和が子供、孫の時代でずっと続きますように願っています。
- ・ 明日何が起こる変わらない時代、毎朝元気で起きて、動くことができ、一日を大事に過ごせる時間に感謝あるの
- ・ 一日が無事にすぎたお風呂に入って夕食を食べるとき。
- ・ 朝元気に目が覚めるとき。
- ・ 寝る前(23時ごろ)今日も一日無事の生かされていることを自覚するとき。見晴らしは絶景である。
- ・ 回答にあたり明確に答えを出せない自分の社会性のなさに驚愕しました。しかし特に不安や心配もなく安全に生活できる環境にあること自体が大変幸せであることを感じます。
- ・ 平穏に過ごせる日々。
- ・ 起床したとき(今朝も生かされていることに感謝)。
- ・ 一日が無事終わったとき。
- ・ 仕事している広島市内の中心部から大竹市に帰って休日を過ごすときの平穏、静かさ。ホッとします。
- ・ 毎日平穏に3食食べることができ、就寝できるとき。平和で平凡な日常があること。
- ・ 普通の生活が幸せだと思います。
- ・ 今日一日無事(何事もなかった)に就寝するときかな。若いときには思わなかったが。
- ・ 穏やかな一日が過ごせたとき。
- ・ 18時の音楽の放送が流れたときに無意識に口ずさんでいて、今日一日平和に終わったなと感じます
- ・ 安全、安心が普通に存在するとき
- ・ 暖かい布団の中で寝れるとき!
- ・ 災害が少ない。
- ・ テレビで災害発生を見たとき、大竹はこんなのではないと思うことがある。
- ・ 自然災害がないこと。
- ・ 災害の少ない大竹に生まれたいことがなにより幸せです。好きな花づくりで知らない人でも心が和むと声をかけてくれます。そのときはみんな笑顔です。他人の喜ぶ顔・声を聞くと幸せを感じます。
- ・ 子供の笑顔、成長。美味しいものを食べたとき。給料日。
- ・ 自然がとても美しい。雨上がりとか特にきれい。なんでもない家族との会話。食べられる幸せ。
- ・ 身体が丈夫で歩くこと、料理すること、自由にできること。同年代に比べすぐれていることが幸せを感じる。
- ・ ①健康であること。②友人との交流(日常は近所の人)
- ・ 平凡なこと、ご近所と仲の良いこと。
- ・ 子供が自分のために思っているいろいろな楽しませてくれるたり、励ましてくれたりすること。子供がトシ祝いに旅行に連れて行ってくれた。健康で生きていること。
- ・ 健康で友達と話すこと。
- ・ 親しい人たちと話す。好きな習いごとをしているとき
- ・ 好きなときに好きなことをし、食べたいものを食べているとき。ぼーっと景色や花等を眺めているとき。
- ・ 自分自身が健康で子ども達とあえること。
- ・ 孫と遊んだときや朝起きたとき。
- ・ 家族や人の役に立っているとき。自分の静かな時間が持てるとき。
- ・ 身体が、健康でシルバーセンターから仕事に行っています。無事終わったときに幸せを感じます。
- ・ 子ども達が楽しそうに帰宅している様子。散歩のときに知らない人同士の会釈。

- ・ 名もない野山、道端の草花を見つけたとき、その花を家に持ち帰りかわいい花瓶に入れて眺めるとき。美味しいものを口にしたとき。
- ・ ひとり住まいの後期高齢者。体調管理をしながら、マイペースでゆっくり過ごす日々。隣の市に住む子どもが毎日、安否伺い、電話をしてくれる幸せで感謝しています。
- ・ 日々の生活を元気に過ごせること。子どもや孫達と楽しく外出したり、買い物を楽しめること。娘や孫と一緒に旅行ができること。
- ・ 家族や一族（孫、独立した子供たち）と一緒に出かけたり、集えて笑顔で話ができるとき。美しい景色を見に行けたとき。
- ・ 孫に会えたこと、おいしいお酒を飲むとき。
- ・ 息子、孫、ひ孫たちが来てくれて話をするとき。近所の人と言葉をかわしたときなど。
- ・ 家族の幸せと社会の安定。
- ・ 美味しいものを食べているとき。最近「幸せだな」と感じたことはとくにはないのですが、家族が毎日どうにか生活しているところ。
- ・ カーブが勝ったとき。気の合った人たちと雑談するとき。子どもと旅をするとき。
- ・ 仕事で達成できたとき（自主目標において）。自分に向けられた笑顔。楽しく家族と共有できたとき。
- ・ 日々の健康、孫の成長等々。
- ・ 85歳になっても自分の足で歩け、自分で食事を作り、友人たちと集うことができとても幸せです。
- ・ コロナ過で人と人との関わりが極端に減少していた。最近になり、子供、孫が集まり元気な顔を見れたこと。また、地域のみなさんとわいわい、がやがやとお話する機会が増えたこと。
- ・ 友だちと楽しく会話し、朝元気に目覚め、おいしくご飯が食べられ、気持ちよく風呂に入り、寝ることくらいしかありません。最低の年金生活ですので。今のご時世、年金低所得者にはとても外食、旅行等、そういった人並みの幸せです声を上げて言えない。先に書いたのがささやかな幸せです。
- ・ お金の心配をせずに、おいしい食事を家族で食べる時。
- ・ 好きなものを食べたときに「ああ、おいしい」と満足感を得たとき。病気やけがなどしなくてずーと元気で暮らす仕事があり、健康である。
- ・ ①好きな絵がかけるとき。②健康で畑庭の手入れができる時。③近所や木のあった人とお話できる時。
- ・ 健康で過ごせること。自然と調和し、穏やかに暮らせること。
- ・ 趣味を楽しんでいる時。人と実りある話をしている時。人の助けになる時。
- ・ 健康と平和
- ・ 今日一日やろうと思って計画したことが全部できた時。家族が健康で食事が美味しくいただいた時。
- ・ 災害のない時。身体が健康な時。
- ・ 家族や友人と美味しいものを食べて語り合っている時間が幸せだと思う。
- ・ ご近所さんと交流。家族の思いやり。
- ・ 子ども、家族と過ごす時間です。4月から子供が入園し、新生活が始まり風邪などで体調を崩しやすくなりました。子供の元気な姿が見られること、自分も健康でいることに『幸せだな』とつくづく感じました。
- ・ 共働き、地域活動などで家族揃って食卓を囲めない日も多いです。家族揃って、笑いながら話してご飯を食べて、1日の終わりに子どもの寝顔をみた時。
- ・ 一日仕事を頑張って晩酌をする時。また、何事にも感謝の気持ちを持つことができる穏やかな気持ちでいられる時。
- ・ 美味しいものを食べた時。山で綺麗な新緑・紅葉・青空を見た時。
- ・ 毎日が元気で散歩し図書館ですごすのが楽しみです。
- ・ 親しく付き合える人に恵まれ、生き甲斐を感じれる仕事に恵まれている
- ・ まち中に花が咲き誇っている時、散歩するのが幸せです。山（亀居城）とかではなく平地に桜が欲しいです。
- ・ 日の出
- ・ 我が家の前には電線が何本かありますが、その電線に度々鳥たちがとまりに来ます。私がたまに口で「チュンチュン」と鳴らすときさえずりが返ってきます。今ではツバメがよくとまっています。とても癒されますね～。
- ・ 春秋の自然
- ・ ウォーキングをしていて山々に桜が咲いていたり、海や島が見えて、身近に美しい自然を感じる時。
- ・ 弥栄湖周辺をドライブし、新緑の草花を見て、幸せな時間を過ごしました。
- ・ 亀居城の桜
- ・ 穏やかな海を臨めるまちに住んでいる実感を思う時。

- ・ 庭に咲くお花を見ているとき。またそれを1輪テーブルの上に入れて、見ているとき。つつじ→さつき→あじさい→ミニひまわり等々、次々と咲いてくれる花々たち。
- ・ 新緑の山を見たとき。
- ・ 桜や薔薇など、季節の花を見るとき。
- ・ いつでも身近に山、川、海がある
- ・ 小さいときからの心地よい地元の空気
- ・ JR大竹駅東口が新設されたこと。待ちわびた宿願が叶った。
- ・ 気楽に遊べるところがあること。
- ・ 介護タクシーがあることです。
- ・ 周辺に食料ドラッグ衣料等が整い、生活に不自由がなくありがたく幸せだと感じています。
- ・ 悩み多き日々を過ごしています。（他人に相談できるようなものではありません。）
- ・ コイちゃんクーポンもらったとき！
- ・ 漁に出ること。
- ・ 幸せは自分の心が決めるので、今幸せです。
- ・ カーブが勝ったとき。
- ・ 青空が見えて他人がいないときマスクを外せたとき。
- ・ 日々幸せを感じながら生活しております。
- ・ 高齢ですから日々幸せと感じています。
- ・ コロナが収束して仕事が徐々に元通りになり始めたこと。
- ・ 朝夕散歩ができること、ゆっくり睡眠がとれること。
- ・ 心に余裕があるとき。
- ・ 自分の人権が保障されていると思うから。
- ・ いろんな役職を持ち、人助けができたときの喜び。
- ・ 少し深いところを書きます。人は物質だけでは生きていけません。博愛だけでも生きていけません。愛することができる対象が必要です。尊敬できる対象が必要です。出会いがあったなら、それを大切にする努力が報われま
- ・ 高級感のあるホテルや旅館に泊まっているとき

その他（幸せではない、世間や市政などへの不満・要望・意見など）

- ・ 特別感じたことはない。
- ・ 最近ではありません。
- ・ 感じていない。
- ・ 特にない。幸せだと感じても即現実に戻る。今の環境を変えなくては大竹はもっと浜辺の整備を考えて、地域を生かしていない。周りが見えていない市。
- ・ 値上げで年金生活者には生活できません。生活保護を考えてる。幸せなんかありません。
- ・ 後期高齢者になると幸せ感じることはないが、目先の不安要素が多く、幸せより不安の方が心配になる。
- ・ このアンケートの結果はどこに掲示され、活用されるのですか？一人一人の意見に対応してください。
- ・ 余計なこと:先日マイNoのことで市役所に行ったがPCが古すぎて画面更新が遅い、建物更新より市民サービスを優先すべし

スマホなど、インターネットでも回答できます！



アンケートにご協力ください

※このアンケートは、令和5年4月30日現在、大竹市にお住まいの方に送付しています。

「“幸せ実感”大竹まちづくりアンケート」

※回答期限：令和5年6月16日(金)まで

日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

市では、まちづくりの指針として、将来像や理念を定めた「大竹市まちづくり基本構想」を令和2年度に策定しました。「大竹市まちづくり基本構想」では、おおむね30年後の幸せなまちの未来を描き、実現に向けて「教育・文化」や「産業・雇用」などの分野別にまちづくりに取り組んでいます。

このアンケートでは、まちづくりのテーマでもある「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」と市民の皆様が思えるようなまちに近づけているか、普段の生活がよりよくなってきているかの実感を市民の皆様におたずねするものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いします。

なお、回答者は、市にお住まいの18歳以上の方の中から、「無作為抽出」により、2,000人(男女各1,000人)を選んでいます。(※抽出日：令和5年4月30日)

★ご記入にあたってのお願い★

- アンケートには、この調査用紙をお送りした封筒に書かれた宛名のご本人がお答えください。(ご本人による回答が困難な場合は、代筆されてもかまいません。)
- 調査結果やご意見は、後日、広報やホームページなどで公開します。
- 無記名回答ですので、回答者は分かりません。率直なご意見をお寄せください。
- 回答は、郵便回答かインターネット回答かどちらかを選択してください。

【郵便回答の場合】

この調査用紙に直接記入してください。同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください(切手は不要です)。返信用封筒の下部にあるバーコードは、郵便局の仕分け用です。ご本人を特定するものではありません。

【インターネット回答の場合】



インターネットでの回答はこちらから。

右記QRコードを読みこんでください。
ご協力をお願いします。



★アンケートのお問い合わせ先★
大竹市総務部企画財政課企画係
電話：0827(59)2125 F A X：0827(57)7130

【アンケート前チェック】あてはまるものにチェックをお願いします。

- アンケートに書面で回答する。
⇒以下の設問におすすみください。
- アンケートにインターネットで回答する。
⇒書面での回答は不要です。
右記QRコードを読みこんで、アンケートにおすすみください



Web回答
はこちら！

大竹市について、あなたが普段思っていることをおたずねします。まちづくり全体に関するものとあなた自身についての質問があります。次の設問に、それぞれあてはまるほうに○をしてください。

	設 問	回 答 欄
A 教 育 ・ 文 化 分 野	① 広く社会で活躍する人を育むまちづくり 子どもたちが学び、成長できる環境になっていると感じますか。	はい ・ いいえ
	② 学び楽しむ心豊かなまちづくり 生涯学習・社会教育・文化活動など様々な学びの場が整っていると感じますか。	はい ・ いいえ
	③ 一人ひとりを大切にするまちづくり あらゆる人の個性や特徴が認められ、学校や地域社会で活躍できる機会や場があると感じますか。	はい ・ いいえ
	あなたは、自分の人権が保障されていると感じますか。	はい ・ いいえ
B 産 業 ・ 雇 用 分 野	④ 歴史や文化を大切にするまちづくり 地域の歴史や伝統文化が大切にされ、未来に引き継がれていると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑤ 活気ある産業のまちづくり 地元の産業（商業、工業、農業、水産業、サービス業など）に活気があると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑥ 多くの人が訪れるまちづくり 大竹に魅力を感じ、市外から多くの人が訪れていると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑦ 地域経済が元気なまちづくり 多くの人が市内で買い物をし、地域経済が活性化していると感じますか。	はい ・ いいえ
C 生 活 ・ 環 境 分 野	⑧ 安心して働けるまちづくり ひとりひとりのライフスタイルに応じた働きやすい環境があると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑨ 快適で暮らしやすいまちづくり 生活に必要なインフラ（上下水道、鉄道、バス、道路など）が整い、快適な生活環境になっていると感じますか。	はい ・ いいえ
	目的地までの移動がしやすいまちだと感じますか。	はい ・ いいえ
	⑩ 自然と調和するまちづくり 豊かな自然が守られ、景観を生かしたまちづくりが進んでいると感じますか。	はい ・ いいえ
	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがよいと感じますか。	はい ・ いいえ
分 野	⑪ 楽しさと憩いにあふれるまちづくり 公園など、様々な世代が楽しめる魅力的な場所があり、居心地がよいと感じますか。	はい ・ いいえ
	⑫ 環境にやさしいまちづくり ごみの減量化やリサイクルなど、「循環型社会」への取り組みがされていると感じますか。	はい ・ いいえ

設 問		回 答 欄
D 安全・安心 分野	⑬災害に強いまちづくり 防災情報の伝達手段（防災行政無線、防災メール、テレホンサービス、緊急速報メール、ホームページなど）は充実していると感じますか。	はい ・ いいえ
	あなたの家庭では災害を意識した準備をしていますか。	はい ・ いいえ
	はいを選んだ人 は次の項目のあてはまるものすべてに○をしてください。複数回答可。	
	() ①自宅周辺で起こり得る自然災害をハザードマップで確認している。	
	() ②災害の状況に合わせた避難先（避難場所、親戚や知人宅、ホテルを含む）を決めている。	
E 健康・福祉 分野	⑭事故や犯罪の少ないまちづくり 地域住民や警察・行政などが協力し、事故や犯罪予防のための取り組みがされていると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑮命を大切にするまちづくり 消防・救急体制が充実し、命と暮らしを守るための市民の意識づくりが進んでいると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑯子どもが健やかに育つまちづくり 大竹市で安心して子どもを生み育てられると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑰誰もが自分らしく生きるまちづくり 高齢の方や障害のある方などが自分らしく自立した生活をおくれる環境にあると感じますか。	はい ・ いいえ
F 自治分野	⑱見守り支え合うまちづくり 住民同士がお互いに支え合える地域づくりが進んでいると感じますか。	はい ・ いいえ
	⑲みんないきいき元気なまちづくり 保健・医療体制が充実し、市民の健康づくりが進んでいると感じますか。	はい ・ いいえ
	あなたは、自分の健康管理に日頃から気を付けていますか。	はい ・ いいえ
F 自治分野	⑳地域を愛する人づくり あなたは、まちや自分の住んでいる地域への愛着や誇りを持っていますか。	はい ・ いいえ
	㉑市民と行政の協働 あなたは現在何か地域のためになる活動をしていますか。	はい ・ いいえ
	はいを選んだ人 はどんな活動をしているかあてはまるものすべてに○をしてください。複数回答可。	
	() ①自治会活動 () ②PTA活動 () ③自主防災組織活動 () ④子どもや高齢者の見守り () ⑤あいさつ運動 () ⑥環境美化活動 () ⑦介護ボランティア () ⑧地域行事の運営 () ⑨その他 【 】	
いいえを選んだ人 は今後「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」と思っていますか。		
() はい () いいえ		

アンケートは裏面にも続きます。



設 問

次の6分野の中で、特に力を入れてほしいものをAからFの中から1つ選び○をしてください。また、選んだ理由やこうしたらいいと思う対策などを記入してください。

回 答 欄

1つ選び○をしてください

理由や対策などをお書きください。

おしる

A	教育・文化 分野
B	産業・雇用 分野
C	生活・環境 分野
D	安全・安心 分野
E	健康・福祉 分野
F	自治 分野

大竹市でのあなたのイチオシについて教えてください。
好きな「ひと」「もの」「こと」「とき」「ところ」など、何でも構いません。
ひとつだけお書きください。

記 入 欄

あなたはどのような時に幸せを感じますか。
最近「幸せだな」と感じたことを教えてください。

記 入 欄

あなた自身のことについておたずねします。次の質問について、あてはまる数字に○をしてください。

(1) 性別

1	男	2	女	3	回答しない
---	---	---	---	---	-------

(2) 年齢

1	18歳～29歳	4	50歳～59歳
2	30歳～39歳	5	60歳～69歳
3	40歳～49歳	6	70歳以上

(3) 住所

1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	5	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷
2	西栄、南栄、東栄、北栄	6	玖波、玖波町、湯舟町
3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海 黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	7	松ヶ原町
		8	栗谷町
4	阿多田		

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。



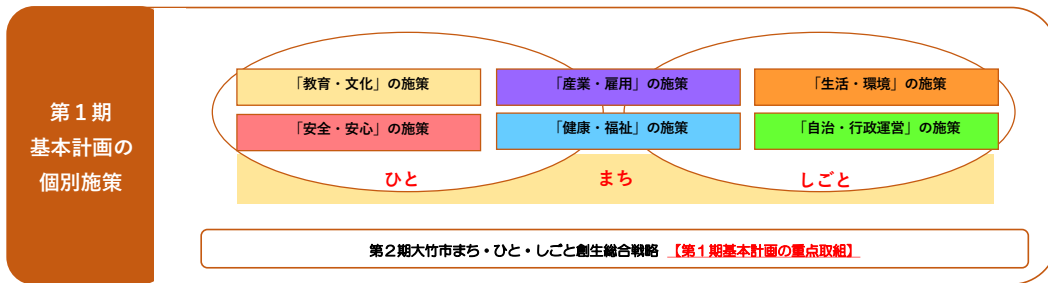
第2章 施策評価

第1節 概要

1. 内容

第1期大竹市まちづくり基本計画（以下「基本計画」）では、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」）を一体的に策定しており、まちづくりのテーマである「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」を、総合戦略の基本理念とするとともに、総合戦略が掲げる「まち」「ひと」「しごと」の各基本目標を基本計画の重点取組と位置付け、各基本目標の達成度を測るための指標を設定しています。

本章では、各基本目標の達成に向けて、基本計画及び総合戦略の対象期間に取り組む施策の成果を測るための重要業績評価指標（KPI）の達成（進捗）状況と、各基本目標の総合評価を掲載し、施策評価とします。



2. 表の見方

総合戦略	①	② 施策評価 ◎:優 ○:良 △:課題有 ×:要改善 ※KPIの達成状況,事業の実施状況等から総合的に判断	③ 施策名 (まちづくり基本計画)	④ 主な事業	⑤ 関連するKPI	現状値 (R1)	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値
						8,401人	813人	7,133人	13,300人
まち	○	イベントについてはコロナ禍の影響が残るものの、回復傾向にある。	1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進	生涯学習推進事業、図書館運営事業など	文化祭・公民館等まつりの参加者数(発表者・来場者) 市民1人あたりの図書館の貸出点数	4.3点	4.5点	4.4点	4.4点
	△	コロナ禍の影響により、中止した指導者向け講習会があったほか、スポーツ振興の要となる人材の固定化や高齢化が課題となっている。	1-4 豊かな心身を育むスポーツの推進	スポーツ振興事業	スポーツ大会の参加者数 指導者(体育委員やボランティア)の数	189,402人	71,843人	108,623人	210,000人

① 総合戦略の体系

国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における、人口減少の克服と地方創生を実現するための基本目標を踏まえ、本市の人口減少に伴う問題の顕在化を未然に防ぐことをめざし「まち」・「ひと」・「しごと」の各分野で基本目標を設定しています。

② 施策評価

KPIの達成状況と各種事業の事業指標や、取組状況などを踏まえて総合的に判断しています。

③ 第1期大竹市まちづくり基本計画の施策の名称

「1 教育・文化」「2 産業・雇用」「3 生活・環境」「4 安全・安心」「5 健康・福祉」「6 自治・行政運営」の6つの分野ごとに施策を定めています。

④ 第1期大竹市まちづくり基本計画の各施策に関連する主な事業

具体的な取組である各種事業は毎年度実施計画を策定して実施しています。ここでは総合戦略の施策評価に関連する主な取組を記載しています。

⑤ KPI (重要業績評価指標)

施策を評価するための成果指標です。令和元年度の数値を「現状値」とし、計画期間の最終年度である令和6年度に4年間の成果を測るため、令和5年度の目標値を定めています。そのため、期間中の各年度の実績値は参考値として扱います。(各年度の数値が把握できた時点で記載するため、年度が終了しても数値が不明のものもあります。)

本章では、第1期基本計画のKPIのうち、総合戦略の基本目標の達成に資するもののみを掲載しています。

第2節 総合戦略における重要業績評価指標（KPI）の達成状況と施策評価

総合戦略	施策評価 ◎:優 ○:良 △:課題有 ×:要改善 ※KPIの達成状況,事業の実施状況等から総合的に判断		施策名 (まちづくり基本計画)	主な事業
まち	○	イベントについてはコロナ禍の影響が残るものの、回復傾向にある。	1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進	生涯学習推進事業、図書館運営事業など
	△	コロナ禍の影響により、中止した指導者向け講習会があったほか、スポーツ振興の要となる人材の固定化や高齢化が課題となっている。	1-4 豊かな心身を育むスポーツの推進	スポーツ振興事業
	○	ボランティア参加者は伸び悩んでいるが、文化財等の普及啓発事業や手すき和紙の体験や見学事業の実績は伸びている。	1-5 まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進	文化財保護事業
	○	大竹駅周辺整備事業は令和6年度完了、小方地区まちづくり事業は内部検討を実施している。	3-1 快適で魅力的な都市空間の創造	大竹駅周辺事業、小方地区まちづくり事業など
	△	山間部等の地域公共交通のあり方について検討が必要。	3-3 生活を支える公共交通の充実	地域公共交通整備事業等
	○	空き家バンクの登録はないものの、リフォーム補助の申請は多く、住宅改修補助についても実績が伸びている。	3-5 住みよさと安心を生む住宅政策	住宅改修等補助事業、空家対策事業
	○	コロナ禍の影響は残るが、園路整備等、継続事業の実施等により利用者の増加が見込まれる。	3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備	晴海臨海公園整備事業
	△	老朽化する設備の更新にあたり、一定の成果はあるが、人員不足等によりペースが上がっていない。	3-7 暮らしを支える上下水道の整備	公共下水道事業、上水道事業
	○	市内小学校等への出前講座の実施や不法投棄監視パトロール、クリーンキャンペーンの実施など概ね計画通りに実施している。	3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり	環境学習事業、環境衛生・美化推進事業、ひろしまの森づくり事業など
	○	防災訓練や学習会の開催により、防災意識について、着実に伸びている。砂防事業、浸水対策事業については災害に備えしっかりと取り組んでいる。	4-1 自然災害やさまざまな危機に強いまちづくり	防災体制整備事業、砂防事業、浸水対策事業など
	○	関係団体や地域と連携し、交通安全の啓発や犯罪被害防止に向けた活動などを推進している。	4-2 事故や犯罪のない安全・安心な地域づくり	交通安全対策事業、防犯対策事業など

関連するKPI	現状値 (R1)	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値
文化祭・公民館等まつりの参加者数（発表者・来場者）	8,401人	813人	7,133人	13,300人
市民1人あたりの図書館の貸出点数	4.3点	4.5点	4.4点	4.4点
スポーツ大会の参加者数	189,402人	71,843人	108,623人	210,000人
指導者（体育委員やボランティア）の数	128人	130人	121人	170人
手すき和紙ボランティア参加者数	443人	346人	362人	450人
大竹駅の整備率（事業費ベース）	23.4%	44.4%	71.3%	96.0%
小方地区まちづくり事業の整備完了面積	0%	3.4%	3.4%	10%
「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」と答えた人の割合	58.4%	46.2%	46.5%	50%以上
住宅耐震化率	83.10%	※国の統計数値。 次回公表はR7。	※国の統計数値。 次回公表はR7。	92%
空き家バンク登録件数（累計）	0件	0件	0件	2件
晴海臨海公園の利用者数	209,424人	99,720人	127,607人	210,000人
汚水処理人口普及率	99.1%	99.2%	99.2%	99.3%
有収率（配水量に対する有収水量の割合）【上水道】	78.6%	75.2%	78.7%	86.8%
環境全般に関する苦情件数	12件	13件	10件	10件
「環境美化の取組が進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」と答えた人の割合	69.9%	63.7%	68.7%	75.0%
森林の間伐、枝打ち、皆伐等の施業面積	196.67ha	199.58ha	201.27ha	221.67ha
防災意識を持った世帯の割合	29.5%	51.2%	54.2%	80.0%
河川水路の浚渫を行った箇所数（累計）	0か所	9か所	13か所	13か所
事故の発生率（高速道路を除く人口1,000人あたりの事故の発生件数）	1.9‰ (1.9-ミル)	1.1‰ (1.1-ミル)	0.9‰ (0.9-ミル)	1.5‰ (1.5-ミル) 以下
犯罪の発生率（人口1,000人あたりの犯罪の発生件数）	5.4‰ (5.4-ミル)	3.3‰ (3.3-ミル)	3.0‰ (3.0-ミル)	5.0‰ (5.0-ミル) 以下

総合戦略	施策評価 ◎:優 ○:良 △:課題有 ×:要改善 ※KPIの達成状況,事業の実施状況等から総合的に判断		施策名 (まちづくり基本計画)	主な事業
まち	○	研修の中止等、コロナ禍の影響を受けたものの、車両や資機材の整備など、計画通りに実施している。	4-4 市民の命を守る消防体制の充実	消防力強化事業、消防団活動の推進など
	○	老人クラブの会員数が減少しているものの、老人集会所の維持や体操グループの支援等による交流の場づくりの推進や、介護サービス施設の新設などに取り組んだ。	5-1 生きがいに満ちた高齢者の暮らしの支援	介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、介護施設整備等補助事業など
	×	関係団体からの要望の聞き取りや地域相談支援について周知のための取組を実施しているが実績はあがっていない。	5-3 障害のある人が自分らしく生きるための支援	障害者総合支援事業など
	△	高齢者見守りのためのタグやSOSシステムの利用者は増加傾向にあるが、地域福祉の担い手育成等、人材確保について実績が伸びていない。	5-4 見守り支え合う地域福祉の推進	地域福祉活動推進事業、地域見守り活動事業など
	◎	特定検診、がん検診の受診勧奨や啓発事業の実施、休日診療所の運営やへき地診療所の確保等、医療体制充実のための事業に取り組んでいる。	5-5 元気・健康・安心をつくる保健・医療体制の充実	健康づくり推進事業、医療体制整備事業
	△	計画に基づき食育授業の実施や管理栄養士の採用により食育事業の推進をしている。地域や家庭での理解や協力が必要であると感じている。	5-6 正しい食生活と食文化を学ぶ食育の推進	食育推進事業など
	○	地域課題に取り組む市民団体等への助成や、まちづくり基本構想等を活用した取組を実施している。	6-1 市民と行政の協働による地域づくり	協働のまちづくり推進事業、まちづくり基本構想等策定・推進事業など
	○	ホームページの操作性の見直しや新たな媒体の活用など発信力の強化のために取り組んでいる。	6-4 時代に対応した情報政策とまちの魅力発信	広報事業

関連するKPI	現状値 (R1)	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値
消防力の整備指針に基づく主要車両の更新整備率 (消防ポンプ自動車・救急自動車)	60.0%	80.0%	80.0%	100.0%
消防職員1人あたりの資格保有数	10個	10.3個	11.2個	11個
必要な研修を受講した消防団員の充足率(定数330人中)	27.8%	7.0%	25.0%	33.0%
救急車への救急救命士の乗車率(第2救急まで)	98.3%	98.5%	97.4%	100.0%
「通いの場」で活動している高齢者の数	292人	377人	412人	470人
「地域の役に立ちたい」と考えている人の割合(65歳以上)	32.6%	※アンケート 調査年のみ	※アンケート 調査年のみ	40.0%
介護給付費における計画値に対する実績	91.5%	96.5%	95.0%	100.0%
施設入所から地域生活へ移行した人数	0人	0人	0人	3人
「ボランティア活動に参加したいと思う」と答えた市民の割合	69.0%	63.8%	65.0%	70.0%
近所との関わりの程度	14.6%	13.1%	14.0%	40.0%
「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加するなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」と答えた人の割合	73.5%	88.7%	90.2%	75.0%
がんによる死亡率	48.2%	54.0%	45.5%	50%以下
入院を必要としない二次・三次救急医療機関受診者(帰宅者)の割合	JA総合:18% 西医療:69.9%	JA総合:24.0% 西医療:71.2%	JA総合:23.0% 西医療:70.1%	減少させる
JA広島総合病院の分娩制限の有無	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし
家で家族の人と一緒に、または一人で料理を作ることができる児童生徒(小学5年生・中学2年生)の割合	—	76.2%	72.8%	80.0%
毎日朝食を食べる人の割合	76.8% (H29)	— 次回アンケート R5(実施済)	— 次回アンケート R5(実施済)	85%以上
食生活改善を実践している人の割合	73.2% (H29)	— 次回アンケート R5(実施済)	— 次回アンケート R5(実施済)	80%以上
「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」と答えた人の割合	40.4%	52.4%	55.9%	41%以上
大竹市に愛着や誇りを持つ人の割合	65.7%	76.5%	76.4%	65.7%
市ホームページアクセス数	942,826	2,119,338	2,522,005	1,000,000

総合戦略	施策評価		施策名 (まちづくり基本計画)	主な事業
	◎:優 ○:良 △:課題有 ×:要改善 ※KPIの達成状況,事業の実施状況等から総合的に判断			
ひと	○	KPIの目標達成には至っていないが給食費の半額補助や遠距離通学支援、放課後児童クラブの待機児童0のための取組など、計画的に取り組んでいる。	1-1 子どもの学びと成長を支える教育の充実	幼保小連携事業、学校教育推進事業、奨学金貸付事業、学校連携・子どもの居場所づくり事業
	△	ジュニアリーダーの育成について、コロナ禍の影響もあるが、事業への参加者が伸び悩んでいる。	1-2 未来を担う青少年の健全な育成	青少年育成事業
	△	コロナ禍の影響もあるが、イベントへの参加者が伸び悩んでいる。	1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進	生涯学習推進事業
	◎	駐留軍等再編交付金基金等により、財源を確保して、子育て支援を充実させるために取り組んでいる。	5-2 子どもと子育てを支える体制の充実	こども医療費助成事業、母子保健事業、病児・病後児保育運営委託事業、地域子育て支援拠点事業など
しごと	○	種苗放流の計画的実施やブランド魚の販路維持に努めた。鳥獣被害対策のため補助の実施も継続して実施している。	2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興	水産業振興事業、鳥獣被害防止対策支援事業、農業振興対策事業など
	△	中小企業支援のための助成金制度等の講習受講者は増えているものの、商店街や商業者が連携して取り組む事業は目標の件数を下回っている。	2-2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興	商工振興事業、中小企業経営安定支援事業、商店街等振興奨励事業など
	○	コロナ禍の影響で観光客数は減っているが、市産品等の商品開発、登録について順調に取り組んでいる。	2-3 にぎわいと交流を生む観光の振興	観光宣伝事業など
	◎	働き方改革推進のためのセミナー参加者は伸び悩んでいるが、雇用機会は比較的確保されている。	2-4 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援	勤労者生活等支援事業
	○	取り扱い貨物の量は伸びていないが、大竹港までのアクセス道の整備等を関係機関に働きかけるとともに、既存施設の維持管理を計画通り進めている。	3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備	港湾施設管理事業、漁港施設維持管理事業

関連するKPI	現状値 (R1)	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値
小学1・2年生の不登校児童数	0人	1人	4人	0人
小・中学校の教育活動に満足している保護者の割合	91%	92%	92%	95%
中学校卒業生の進学率	100%	100%	98%	100%
「放課後子ども教室、らんらんカレッジ事業、放課後児童クラブ事業に「とても満足している」または「満足している」と答えた児童・保護者の割合	— (R2:80%)	79%	91%	85%
ジュニアリーダー育成事業、中学生交歓交流事業への参加が地域や社会で活躍するきっかけとなったと答えた人の割合	—	28%	44%	80%
文化祭・公民館等まつりの参加者数（発表者・来場者）	8,401人	813人	7,133人	13,300人
「安心して子どもを生み育てられる」と感じる人の割合	—	62.9%	63.9%	60.0%
産後1か月でEPDS（産後うつ病質問票）が9点以上の褥婦（おおむね産後6～8週間の期間にある女性）の割合	6.7%	6.1%	6.5%	減少させる
保育所等の待機児童数	0人	0人	0人	0人
保育所等への入所未決定児童数（特定の保育所や認定こども園を希望している児童）	5人	7人	9人	0人
要保護児童対策地域協議会登録児童の終結率	54.8%	67.1%	59.0%	60.0%
自立した母子・父子世帯の割合（児童扶養手当の給付を要しなくなった人の割合）	8.2%	11.3%	11.0%	10.0%
海面漁業漁獲量	3,647t (H29年度)	2,857t (R1年度)	3,820t (R2年度)	3,652t
あたたハマチtoレモンの価格	900円/kg	1,100円/kg	1,200円/kg	1,200円/kg
新規就農者数（累計）	0人	0人	0人	1人
市内事業所数の減少率	△3.2%	※国の統計数値。 次回公表はR7。	※国の統計数値。 次回公表はR7。	△3%以内
市内観光客数（1月～12月）	470,318人	280,529人	297,608人	520,000人
新規求人数に対する新規求職者数の年間割合	1.48	1.23	1.39	1倍以上2倍
大竹港で取り扱う貨物の量	145万t	140万t	126万t	160万t

第3節 総評

令和2年度、令和3年度はコロナ禍により、さまざまなイベントが中止となり、人の動きが制限されたことが指標に大きく影響していましたが、令和4年度は、全体的に改善傾向にありました。イベントの参加者や講座の開催件数を指標にしたものは増加しており、幸せ実感まちづくりアンケートの回答を指標とする項目は、多くが目標を達成しています。

これは、コロナ禍が終息に向かい、制限が緩和されたことだけでなく、再編交付金基金事業等による子育て支援策の充実や、美術館、ホテル、小売店など新規企業立地による雇用の場の創出、大竹駅や道路、公園整備などハード面の充実など、コロナ対策に取り組みながらも市民の皆様の満足感につながる取組を実施できたことが評価されたものと考えています。



令和4（2022）年度 行政評価報告書

発行年月：令和5（2023）年12月

発行元：大竹市総務部企画財政課

【お問い合わせ】

電話：（0827）59－2125（企画係）

FAX：（0827）57－7130

メール：kikaku@city.otake.hiroshima.jp

